

2021 年 4 月 7 日
株式会社 TransRecog
第 2.24 版

AxelaNote 操作手順書

株式会社 TransRecog

目次

1. はじめに	1
2. AxelaNote の概要	1
3. 前提条件	3
補足：Windows における画面入力の種類	3
4. インストール	6
5. サイレントインストール	9
5.1 インストール	9
5.2 アンインストール	9
6. 新 axl ファイルについて	12
6.1 旧 axl ファイルから新 axl ファイルへの移行	12
6.2 移行されたファイルの変更点	12
7. 基本的な使い方	14
7.1 新規作成	14
7.2 既存の書き込みファイルを開く	17
7.2.1 書き込みファイル（axl ファイル）ダブルクリック	17
7.2.2 追記対象選択画面からダイアログで開く	18
7.2.3 追記対象選択画面にドラッグ&ドロップして開く	19
7.2.4 デスクトップのアイコンにドラッグ&ドロップする	19
7.2.5 AxelaNote 書き込み画面で開く	20
7.3 保存	21
7.4 CSV ファイル保存	21
8. 操作方法	23
8.1 移動	23
キーボード	23
マウス/タッチ	23
タッチ	26
8.2 編集	28
線と四角を描く	29
フリーフォームを描く	31
画像を描く	33
スタンプを押印する	34
フリーハンドで描く	35
蛍光ペンで描く	36

テキストを書く	36
消しゴムで消す	43
アンドゥ	43
リドゥ	44
オブジェクトを移動する	44
オブジェクトを少し移動する	46
整列する	46
全てを選択する	47
領域選択する	47
領域切り取り	48
領域コピー	48
領域貼り付け	49
領域削除	49
選択する	49
サイズを変更する	50
グループ化する	52
最前面に移動／最背面に移動	52
画像を水平に分割／垂直に分割	53
輪郭を抽出する	54
手を当てて消す	57
回転する	58
枠線を描く	59
8.3 ページ処理	61
8.4 PDF・画像出力	63
8.5 終了	65
9. 設定など	67
9.1 設定	67
9.2 ライセンス	69
9.3 ヘルプ	70
9.4 よくあるご質問と回答	70
9.5 バージョン情報	70
10. ライセンス	71
10.1 ライセンスによる機能の差異	71
10.2 ライセンス認証	75

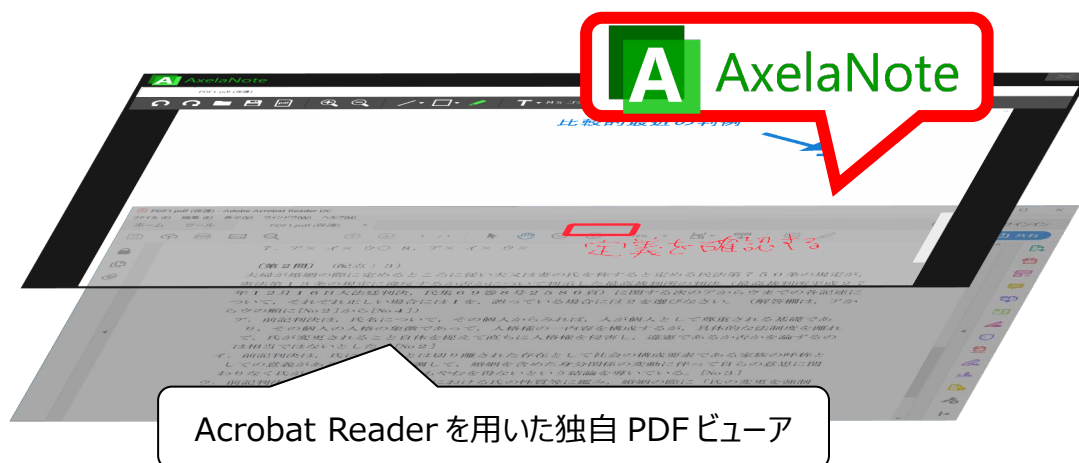
11. お願い	75
12. 注意事項	75
13. お問い合わせ先.....	75
14. ライセンス表示.....	75
15. 他社商標	82

1.はじめに

このたびは AxelaNote をご利用頂き誠にありがとうございます。このドキュメントには、AxelaNote(Ver1.93 Build1093)を利用する上で必要な基本的な事項が記載されております。ページの入れ替え・削除・挿入については [AxelaMerge 操作手順書](#) をご参照ください。

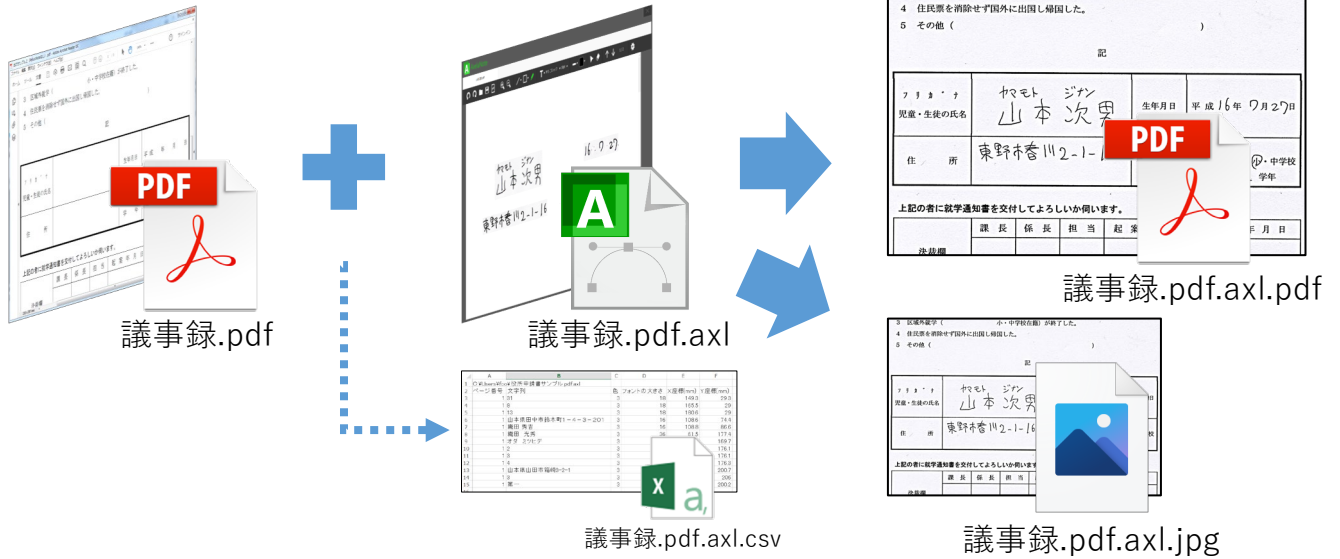
2.AxelaNote の概要

AxelaNote は半透明で動作する書き込みソフトです。Acrobat Reader を用いた独自 PDF ビューアとともに動作します。元の PDF に編集制限があっても書き込める、元の PDF を書き換ええない、元の PDF の表示が絶対に崩れない、印刷不可でも印刷できるなど、他の PDF 書き込みソフトにない特徴があります。

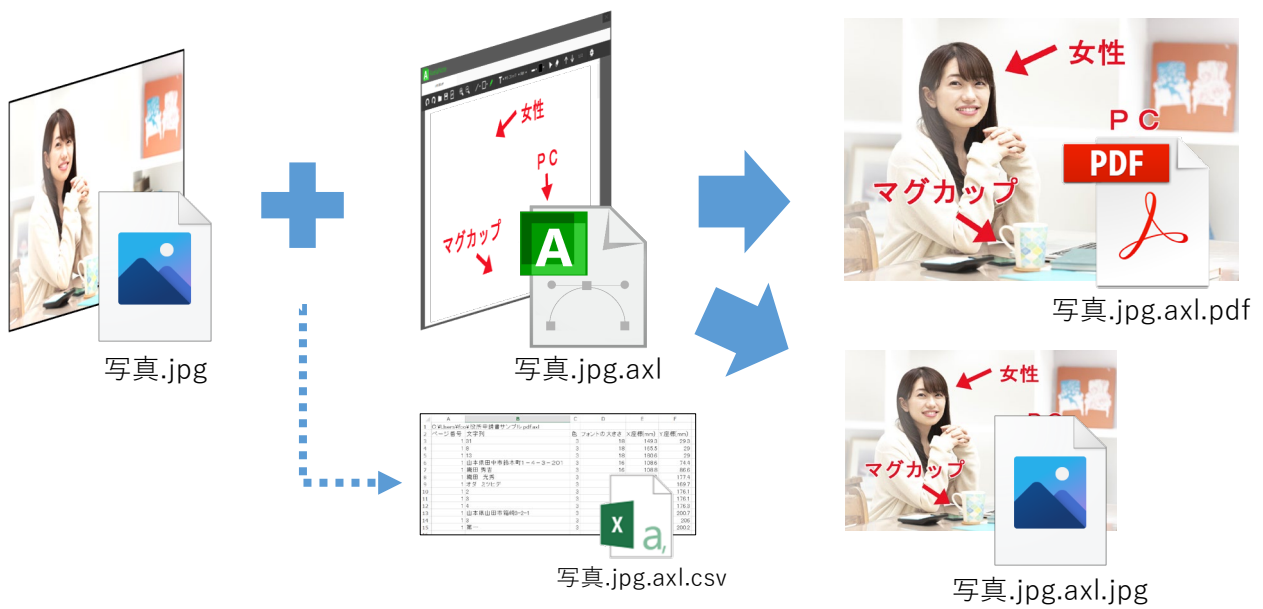


画像にも書き込めます。画像に書き込む場合は、画像を AxelaNote が表示するので前提となるソフトは不要です。書き込み部分は独自形式の axl ファイルとして保存します。元の PDF や画像と書き込みを統合して新たな PDF や画像を生成することができます。新たな PDF は元の PDF に印刷禁止や注釈禁止であっても印刷や注釈が可能になります。また、書き込んだテキストを CSV ファイルとして一覧出力することができます。

■ PDF に書き込む場合



■ 画像に書き込む場合



3.前提条件

必須環境	CPU	Intel ATOM x7-Z8700 以上	
	OS	Windows10 バージョン 1703 以上(32/64 ビット)	
	メモリ	4GB 以上	
	モジュール	<ul style="list-style-type: none"> ● .NET framework 4.5 以上 ● Visual Studio 2017 Microsoft Visual C++(x86) 再頒布可能パッケージ 	
	回線	インターネットとの接続（ライセンス確認のため）	
	ディスプレイ解像度	1280x1024 以上（デスクトップの表示スケール 100%換算）	
推奨環境	CPU	Intel Core i5 Haswell 世代以上	
	OS	Windows10 バージョン 1703 以上 64 ビット	
	メモリ	8GB 以上	
	モジュール	同上	
書き込み対象	PDF、JPEG、PNG、TIFF、BMP		
出力フォーマット	PDF、JPEG、PNG		
前提ソフト	Acrobat Reader DC（もしくは Acrobat DC）、Acrobat Reader 2017		
入力デバイス	キーボード、マウス、画面入力		
	<p>補足：Windows における画面入力の種類</p> <p>Windows において画面入力に対応するデバイスは大きく分けてデジタイザペンとタッチの2種類があります。そして、両方とも対応する機器と、片方のみ対応する機器があります。以下はそれぞれの機器の一例です。AxelaNote はいずれの機器でも設定によって利用可能です。実際の操作に使うものの形状はペン型であっても、Windows の内部的にはタッチとして処理している場合がありますが、AxelaNote の設定により対応可能です（P67 参照）。</p>		
		PC	モニター
	デジタイザペンとタッチ両方利用可能な機種	Microsoft Surface、Lenovo Yoga C930、HP ENVY 15 など	Wacom Cintiq Pro など
	デジタイザペンのみ利用可能な機器	-	Wacom Cintiq など
タッチのみ利用可能な機器	HP Pavilion 13、MAXHUB など	マウスコンピューター-iiyama T2234MSC-B6X、Dell	

			P2418HT、I-O DATA LCD-MF224FDB-T、ASUS VT229H など
--	--	--	--

ディスプレイ Per-Monitor マルチ DPI 対応

現バージョンはページ番号にアラビア数字以外が使われている PDF には対応しておりません。

処理速度高速化のためスクロール時は実際より粗い画像が表示されますが、スクロールを終了すると実際の画像が表示されます。

万が一スクロールがずれた際は、以下を試してみてください。

- ページが画面内に収まるように表示を縮小する
- ページを切り替える

対応する PDF は 1 ページあたり 1m² までとなります。

現バージョンで対応する最大ページ数は 500 です。

現バージョンで書き込めるオブジェクトの数は 1 ページ当たり最大 2000 です。

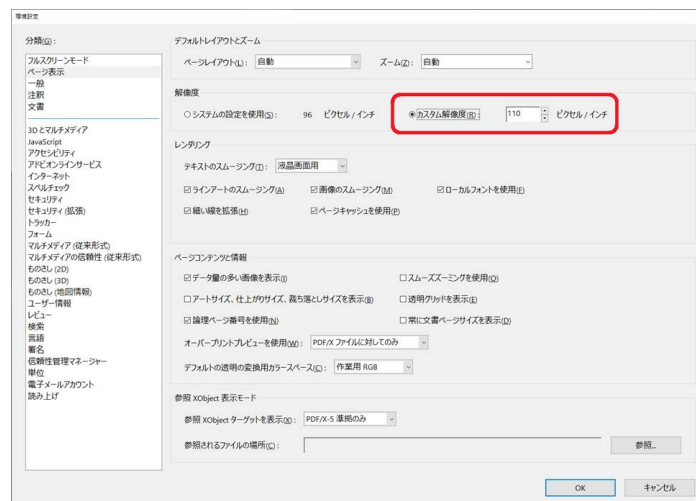
本製品は日本国内でのみご利用可能です。

現バージョンでは Acrobat Reader DC の解像度を「カスタム解像度 110」にしてください。

■ 設定方法

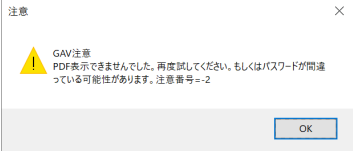
① Acrobat Reader DC を起動し、メニューの「編集」から「環境設定」をクリックします。

② 分類から「ページ表示」を選び、カスタム解像度を「110」にします。



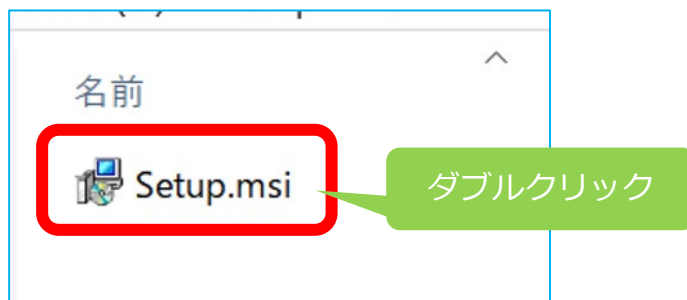
万が一本設定を行っていても AxelaNote 起動時にカスタム解像度を 110 にするように促すエラーが表示される場合、「C:\¥ProgramData¥AxelaNote¥Axela Note¥AxelaNote.ini」に以下一行を追加してください。

ForceReso110=1

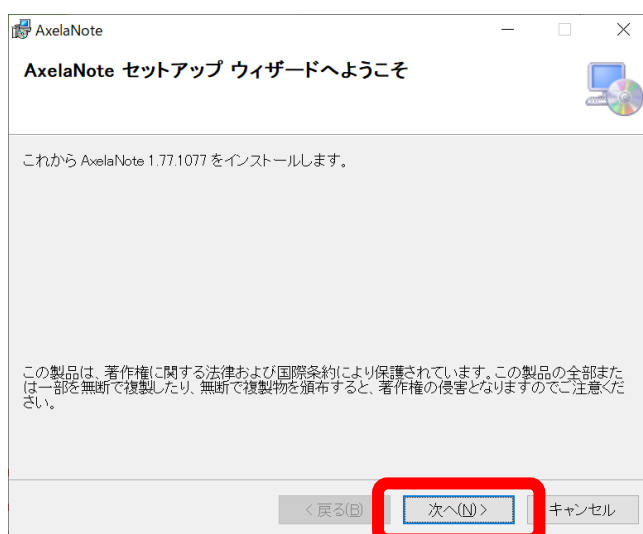
	<p>複数のデスクトップが利用できる Windows10 の仮想デスクトップ機能には対応しておりません（マルチモニタには対応しています）。</p>
	<p>ご利用には Acrobat Reader もしくは Acrobat を OCX として読み込めるようにする必要があります。起動してから 40 秒以上たっても PDF が表示されず以下のエラーとなる場合は、</p>  <p>以下の手順に従い IE11 にて Acrobat の OCX を有効にしてください。 https://helpx.adobe.com/acrobat/using/display-pdf-in-browser.html</p> <p>現バージョンでは Acrobat の言語が日本語に設定されている場合のみ動作いたします。</p>

4.インストール

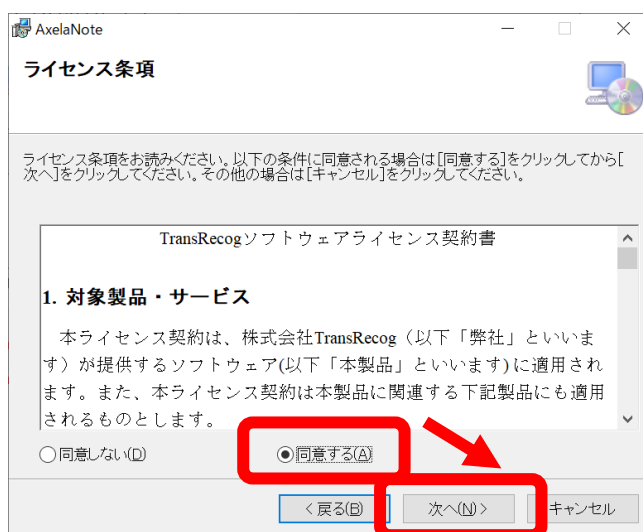
(1) AxelaNote のインストーラー「Setup.msi」をダブルクリックします。



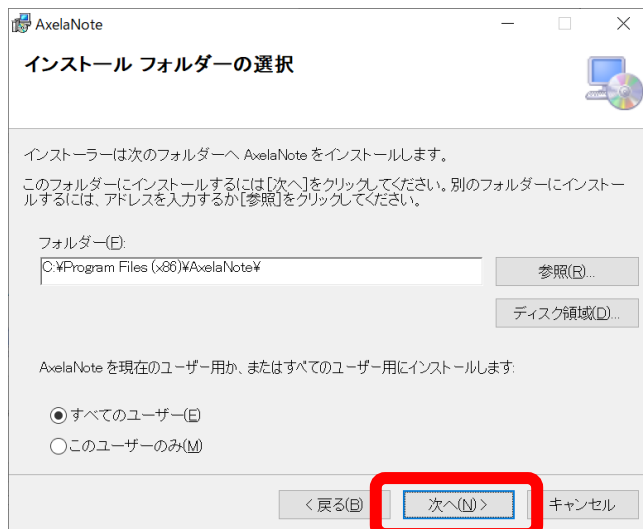
(2) 「次へ」をクリックします。



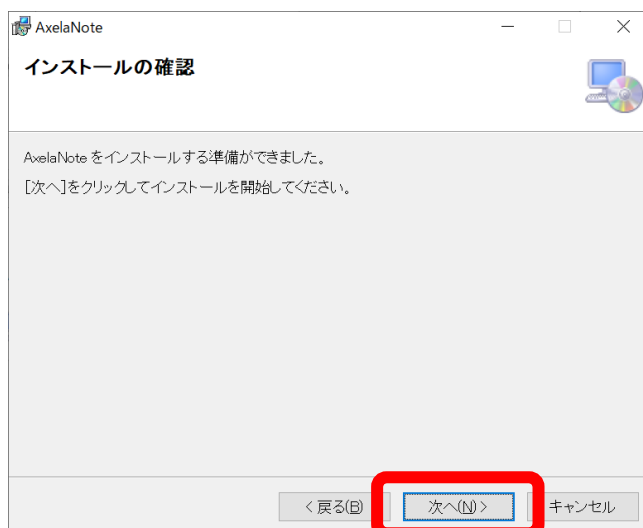
(3) ライセンスを読んだ後、「同意する」にチェックをつけて「次へ」をクリックします。



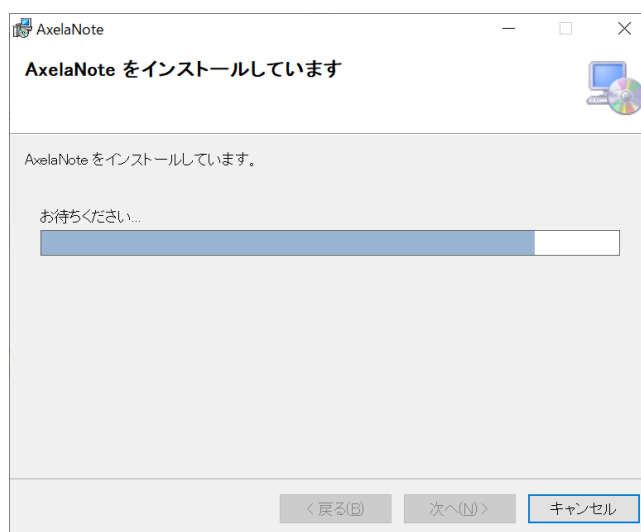
(4) 「次へ」をクリックします。



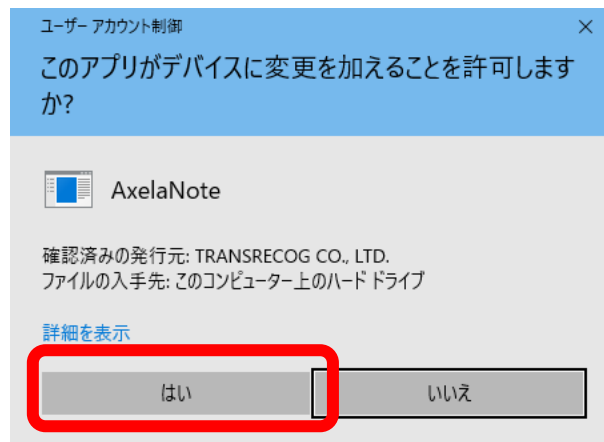
(5) 「次へ」をクリックします。



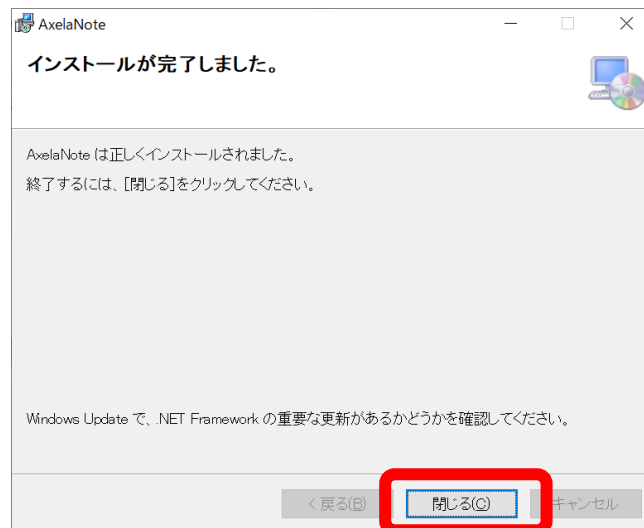
(6) インストールが始まりますので、待機します。



- (7) 途中でユーザーアカウント制御画面が表示されるので、「はい」をクリックします。インストール中のユーザーに管理者権限がない場合は、管理者にユーザー名とパスワードを入力頂きます。なお、この画面は PC の環境によっては表示されない場合があります。



- (8) 「閉じる」をクリックします。



5.サイレントインストール

AxelaNote は、セットアッププログラムの画面を表示せずにインストールを行うサイレントインストールに対応しています。複数の端末に配布してインストールする場合にご活用いただけます。

5.1 インストール

- (1) 管理者権限にて以下を実行します。

```
msiexec /i Setup.msi /quiet /lv foo.txt
```

ここで *foo.txt* はインストーラーログのファイル名です。

- (2) インストーラーログファイルの末行近くに、「MainEngineThread is returning 0」と記されていればインストールは成功です。エラーコードが 0 以外の場合は失敗です。エラーコードの意味は Microsoft 社のサイト「MsiExec.exe and InstMsi.exe Error Messages」(<https://docs.microsoft.com/en-us/windows/win32/msi/error-codes>)にて確認することができます。

5.2 アンインストール

- (1) AxelaNote のプロダクトコードを確認します。管理者権限にて以下を実行します。

```
wmic product where "Name = 'AxelaNote'" get Name, Version, IdentifyingNumber  
1>text.txt 2>error.txt
```

ここで *text.txt* は結果ファイル名、*error.txt* はエラーファイル名です。

- (2) 成功すると結果ファイルに以下のように出力されます。

IdentifyingNumber	Name	Version
{プロダクトコード}	AxelaNote	1.58.1058

なお、プロダクトコードはバージョン毎に異なります。

- (3) 管理者権限にて以下を実行します。

```
msiexec /X{プロダクトコード} /quiet /lv unist_admin.txt
```

ここで *unist_admin.txt* はアンインストールログのファイル名です。

- (4) アンインストールログファイルの末行近くに、「MainEngineThread is returning 0」と記されていればアンインストールは成功です。エラーコードが 0 以外の場合は失敗です。エラーコードの意

味は Microsoft 社のサイト「MsiExec.exe and InstMsi.exe Error Messages」
(<https://docs.microsoft.com/en-us/windows/win32/msi/error-codes>) にて確認することが
できます。

◇機能早見表

基本は「描画ツール」で書いて「選択ツール」で編集。この繰り返しです。

		アンドウ系	ファイル系	ズーム系	描画ツール	線種	太さ	色	選択ツール	手のひらツール	消しゴム	ページ移動	ページ設定	設定	
アンドウ系															20回分、アンドウとリドゥを行えます。
ファイル系	読み込み														書き込みファイル（axl ファイル）を読み込みます。
	保存														書き込みファイル（axl ファイル）を保存します。
	PDF 出力														原本 PDF と書き込みを重ね合わせた PDF（.axl.pdf）と画像を出力します。PDF 出力は 5 種類の画質を選べます。画質が高いほどファイルサイズが大きくなります。
ズーム															画面を拡大／縮小します。
描画ツール	蛍光ペン														蛍光ペンを描画します。蛍光ペンは他の描画ツールとは独立した個別の色と太さを持っています。
	線と四角														線と四角オブジェクトを描画します。SHIFT キーを押しながら描くことにより、縦横まっすぐに線を引くこともできます。 線／矢印／フリーフォーム／四角／円／チェック／ファイルから画像読み込み（png、jpeg、bmp、tiff 等）／スタンプ
	フリーハンド														フリーハンドオブジェクトを描画します。マウスやタブレットペンで実物のペンと同じように自由に描画します。
	テキスト／フォント／サイズ														キーボードでテキストオブジェクトを描画します。縁取りなし／縁取りあり／定型語モード <div style="display: flex; justify-content: space-around; font-size: small;"> あいうえお かきくけこ 縁取りなし文字 </div> <div style="display: flex; justify-content: space-around; font-size: small;"> あいうえお かきくけこ 縁取りあり文字 </div>
線種と太さと色	線種														線と四角、フリーハンドの線種を選択します。
	太さ														線と四角、フリーハンドの太さを選択します。
	色														色と透明度を選べます。スライダーの一番右が不透明です。
選択ツール														オブジェクトや領域を選択します。移動、サイズ変更、切り取り、コピー、貼り付け、削除、最前面や最背面に移動、グループ化などを行えます。	
手のひらツール														画面を掴むようにスクロールします。	
消しゴム														オブジェクトを消します。	
ページ移動	前／次ページ														前ページ／次ページに移動します。
	ページジャンプ														選択したページにジャンプします。
ページ設定														各ページ共通のヘッダーやフッターを指定します。	
設定														設定、分類と項番設定、スタンプ設定、ライセンス登録、ヘルプ、よくあるご質問と回答を表示選択します。	

6.新 axl ファイルについて

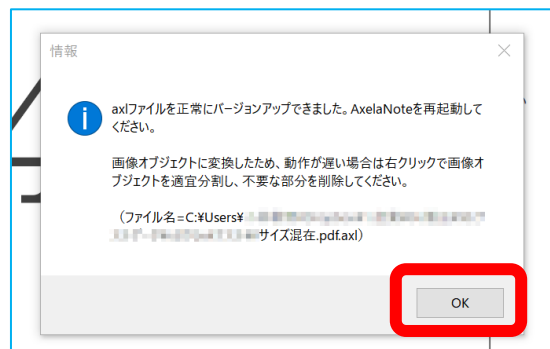
AxelaNote Ver1.50 Build1050 から axl ファイルのファイルフォーマットが新しくなりました。AxelaNote Ver1.12 Build1042 以前のバージョンで作成した旧 axl ファイルは、初回読み込み時に新 axl ファイルに変換します。変換の流れを以下に示します。

6.1 旧 axl ファイルから新 axl ファイルへの移行

(1) AxelaNote で旧 axl ファイルを読み込むと、以下のメッセージが表示されるので、OK ボタンをクリックします。



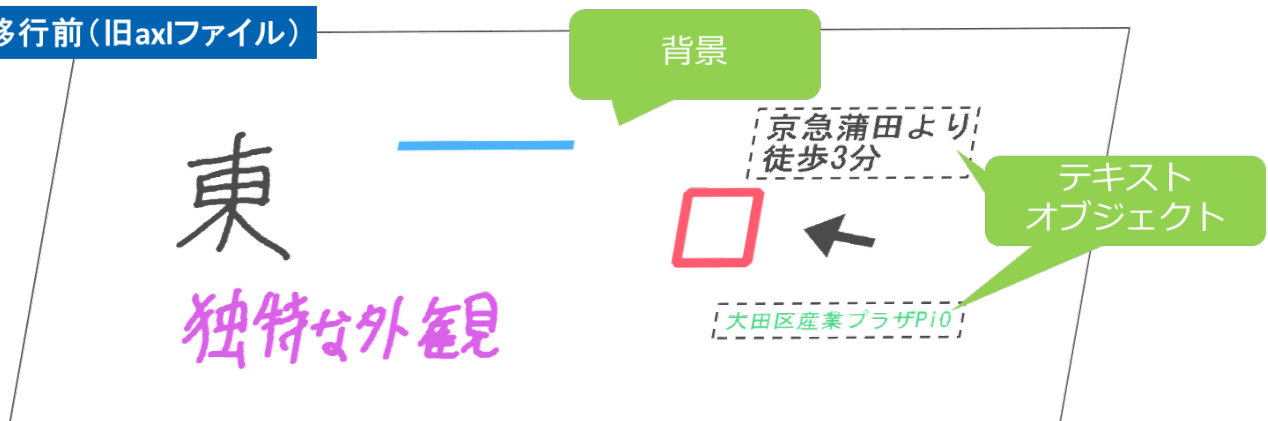
(2) しばらくすると新 axl ファイルへの変換が完了しメッセージが表示されます。OK ボタンをクリックすると AxelaNote が終了しますので、再度立ち上げてください。



6.2 移行されたファイルの変更点

AxelaNote Ver1.50 Build1050 よりすべての書き込みはオブジェクトになりました。これにより、旧 axl ファイルで背景に描かれていた書き込みは全て 1 枚の画像オブジェクトに変換され、背景はなくなります。移行による axl ファイルの変更点を以下に示します。

移行前(旧axlファイル)



移行

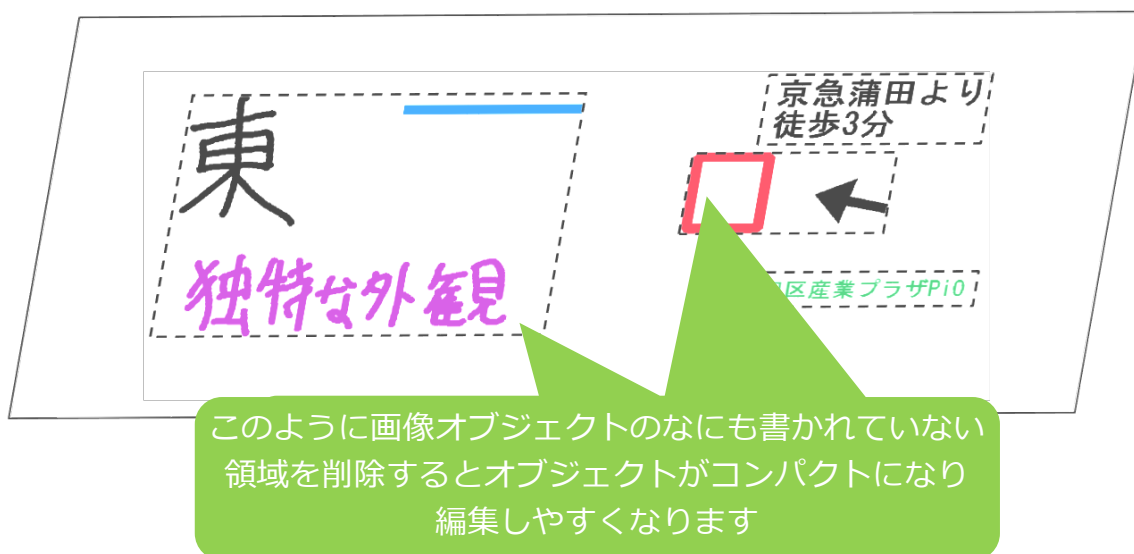
移行後(新axlファイル)

背景はなくなる

テキスト
オブジェクトは
変更なし

旧axlファイルの背景は
1枚の画像オブジェクトに変換される

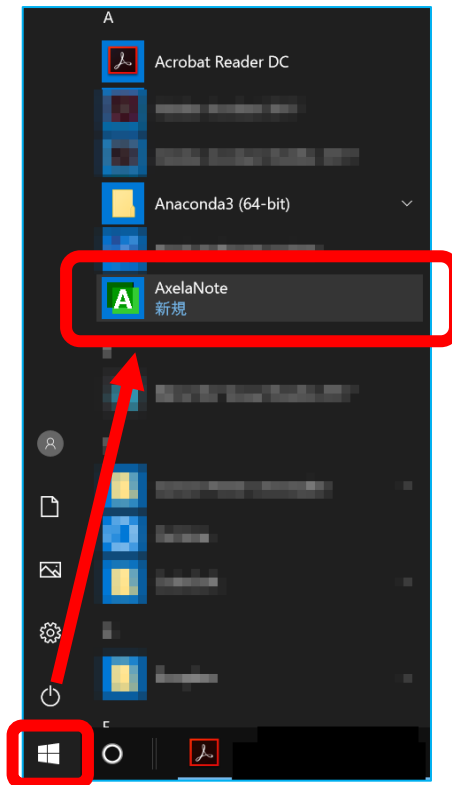
変換された画像オブジェクトはなにも書かれていない領域が含まれる場合があります。なにも書かれていない大きな領域があると、選択ツールの使い勝手や描画性能に悪影響がでますので、36 ページにある画像オブジェクト分割の機能を用いて削除することを推奨します。



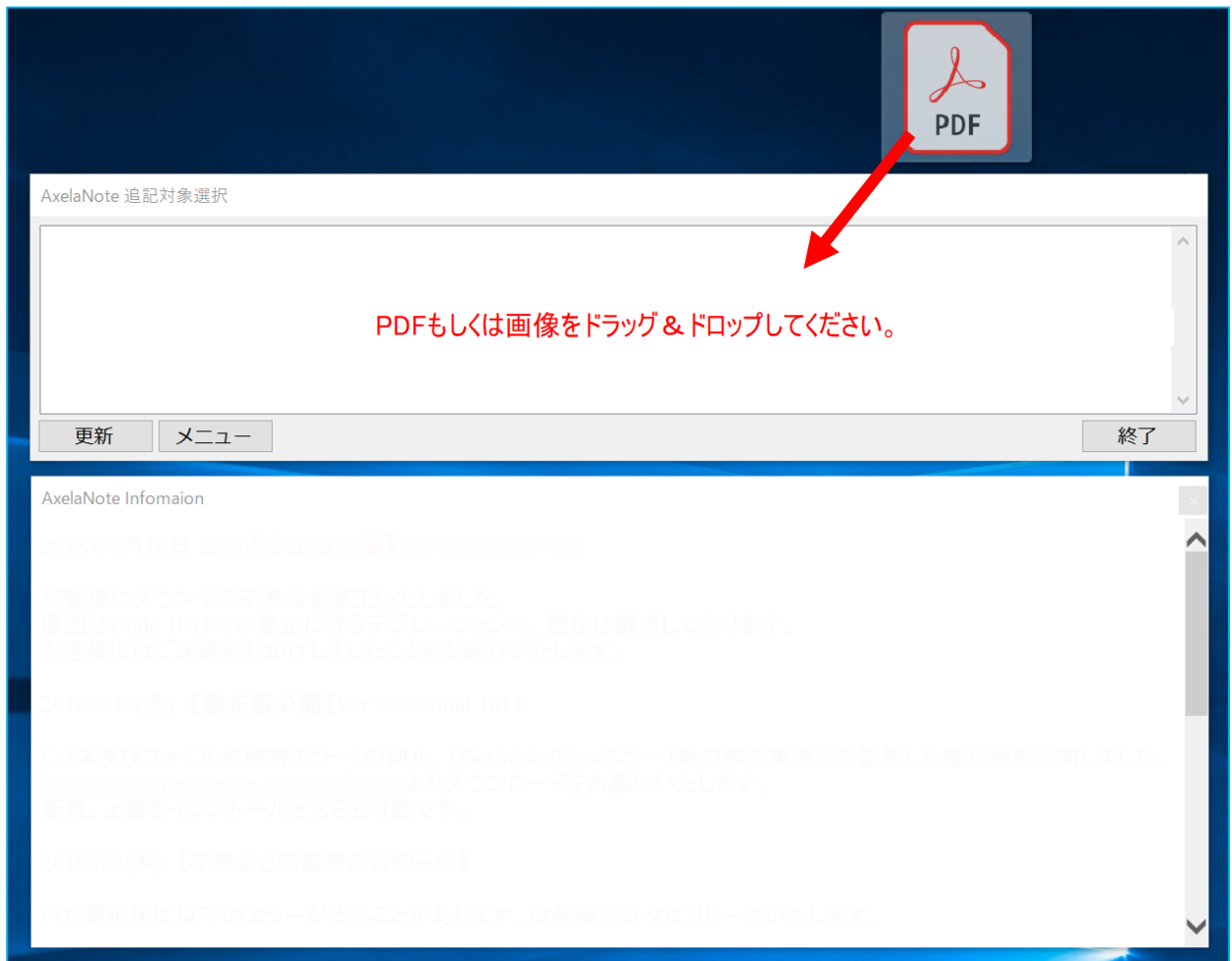
7. 基本的な使い方

7.1 新規作成

(1) タスクバーの Windows ボタンから AxelaNote を左クリックし、起動してください。



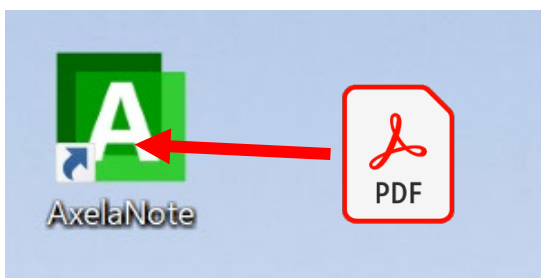
(2) AxelaNote 追記対象選択画面が表示されますので、書き込み対象の PDF もしくは画像をドラッグ & ドロップしてください。



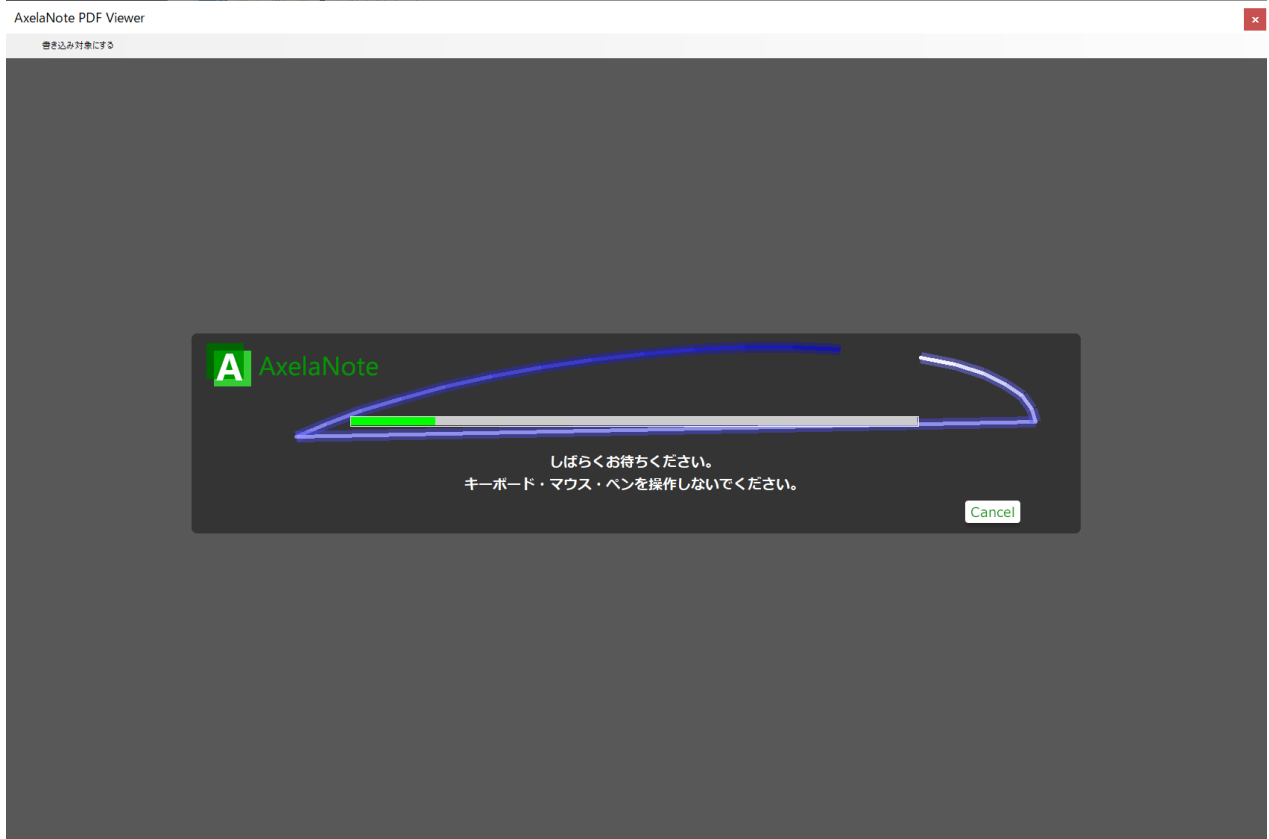
もしくはメニューボタンから「開く」を選択しても起動できます。



AxelaNote を起動せずに PDF や画像をデスクトップ上の AxelaNote のアイコンにドラッグ & ドロップしても起動可能です。



- (3) ビューアが起動し緑色のプログレスバーが表示されます。この処理は 3~6 秒で終了します。保護パスワード付きの PDF の場合、ここでパスワードを入力します。



- (4) AxelaNote 書き込み画面が表示されます。



7.2 既存の書き込みファイルを開く

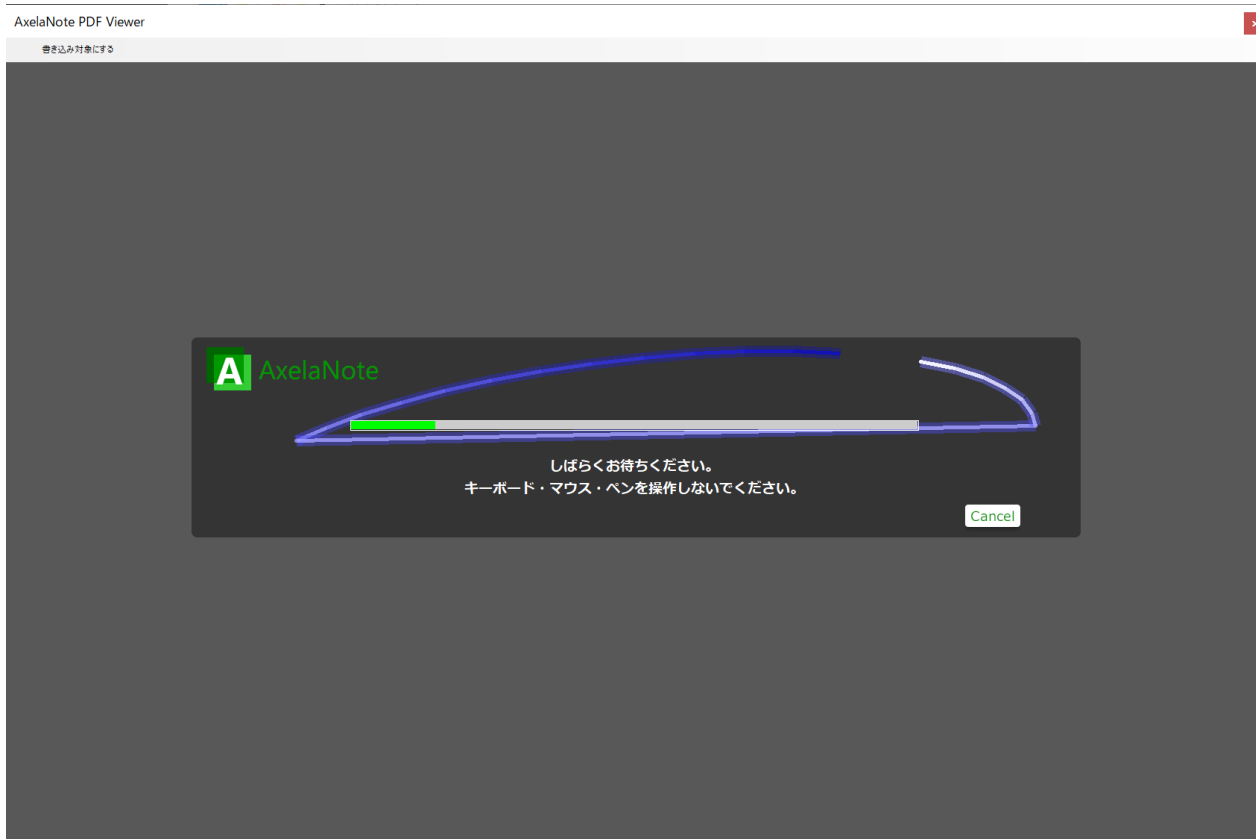
書き込みファイル（axl ファイル）の開き方は 5 通りあります。お好みに合わせてお選びください。

7.2.1 書き込みファイル（axl ファイル）ダブルクリック

(1) エクスプローラーにて、axl ファイルのあるフォルダに対応する PDF もしくは画像ファイルがあることを確認し、axl ファイルをダブルクリックします。



(2) ビューアが起動し緑色のプログレスバーが表示されます。この処理は 3~6 秒で終了します。保護パスワード付きの PDF の場合、ここでパスワードを入力します。



(3) AxelaNote 書き込み画面が表示されます。



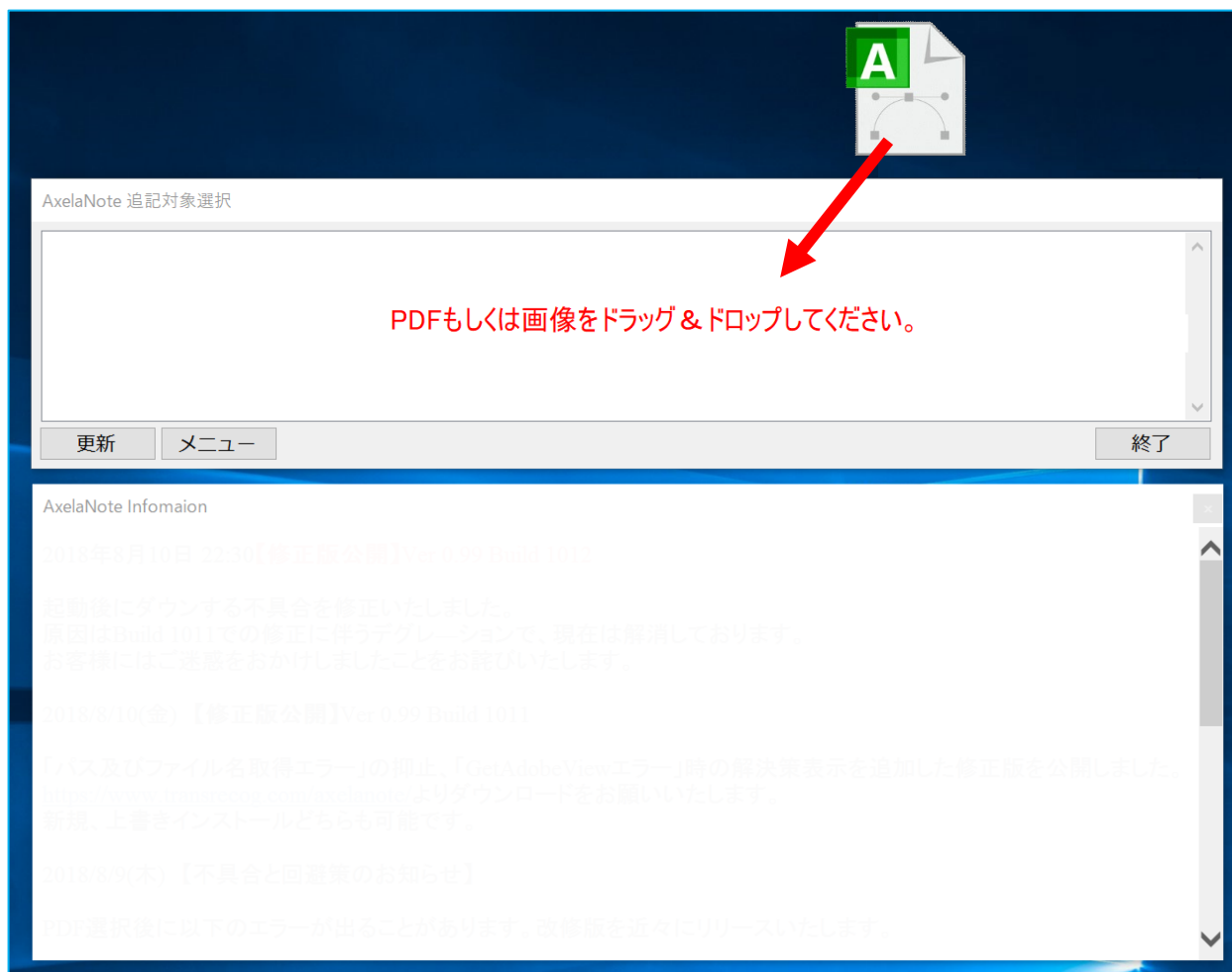
7.2.2 追記対象選択画面からダイアログで開く

AxelaNote 起動後、メニューから「開く」をクリックし、axl ファイルを選択します。



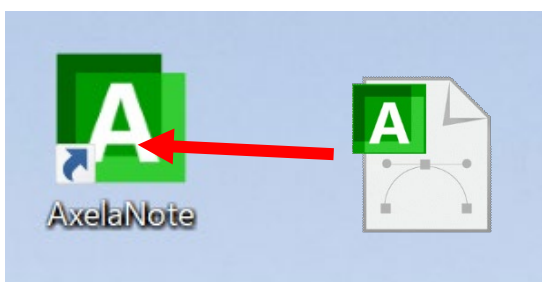
7.2.3 追記対象選択画面にドラッグ&ドロップして開く

AxelaNote を起動し



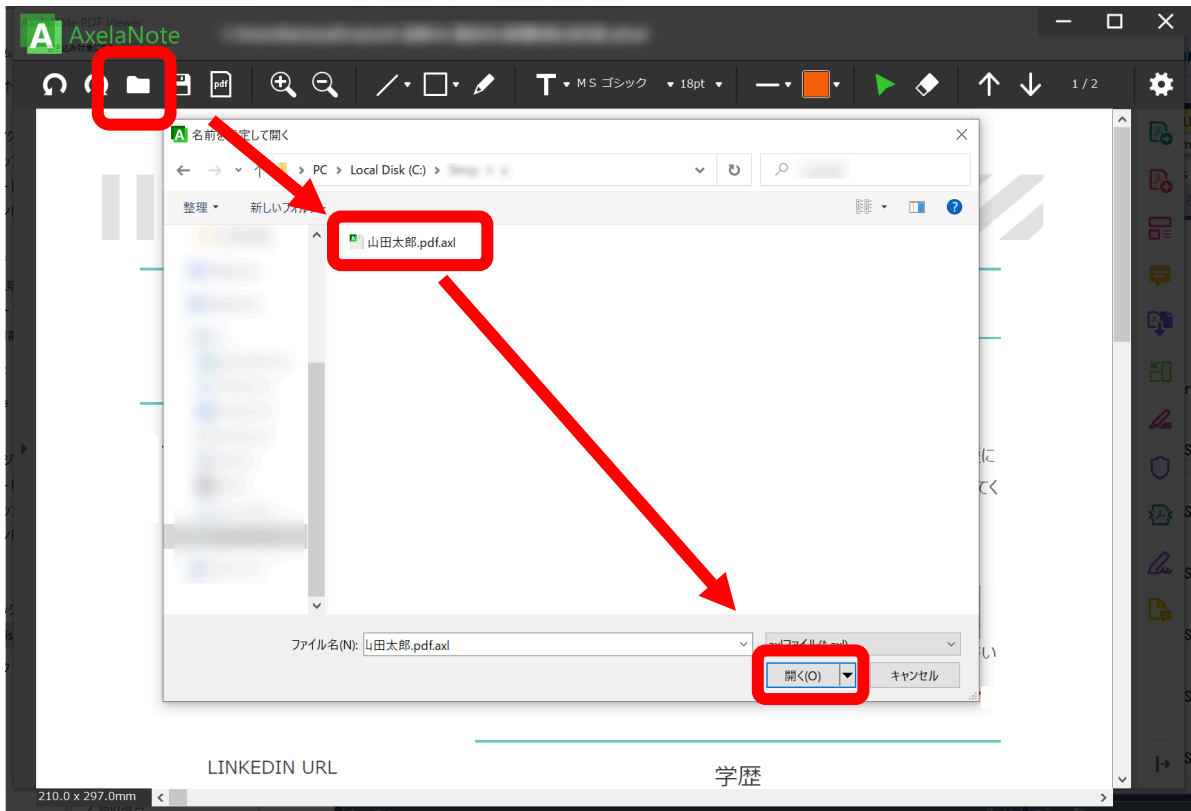
7.2.4 デスクトップのアイコンにドラッグ&ドロップする

AxelaNote を起動せずに axl ファイルをデスクトップ上の AxelaNote のアイコンにドラッグ&ドロップします。



7.2.5 AxelaNote 書き込み画面で開く

- (1) メニューから「開く」ボタンを左クリックし、axl ファイルを開いてください。デフォルトのフォルダ位置は開いている PDF や画像と同じフォルダです。



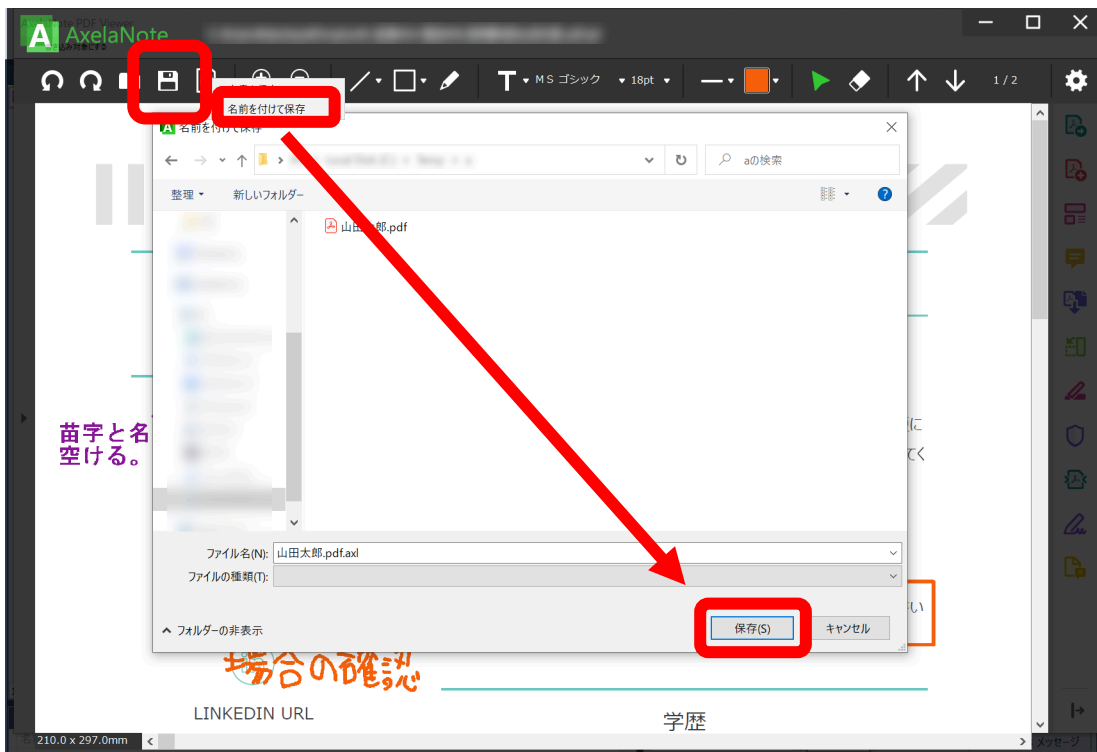
- (2) axl ファイルが読み込まれます。



なお、axl ファイルを AxelaNote にドラッグ&ドロップしても開くことができます。

7.3 保存

- (1) メニューから「保存」ボタンを左クリックで上書き保存もしくは名前を付けて保存を選択し、axl ファイルを保存してください。Ctrl+S でも上書き保存ができます。デフォルトのフォルダ位置は開いている PDF や画像と同じフォルダで、デフォルトのファイル名は開いている PDF のファイル名に拡張子「.axl」を付加したものになります。

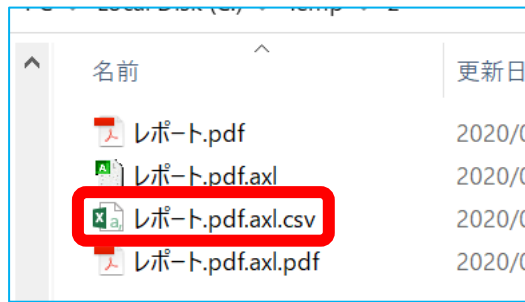


7.4 CSV ファイル保存

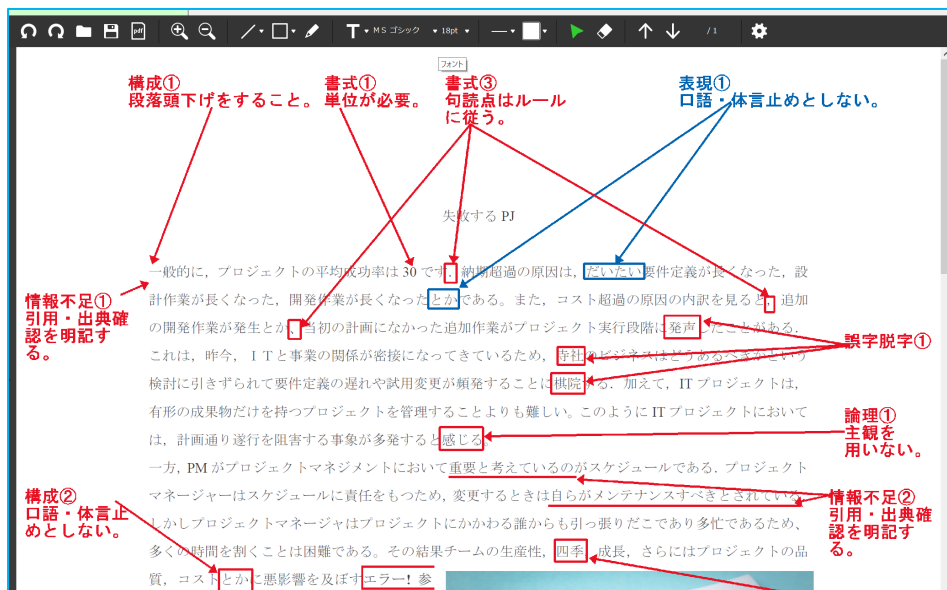
- 全ページのテキストオブジェクトを一覧化して CSV に出力することができます。
メニューの歯車のアイコンをクリックし「設定」を選んでください。



これにより、axl ファイル保存時、axl ファイルと同じディレクトリに、axl.csv というファイルが出力されるようになります。



例えば以下のような書き込みを保存すると、




axl ファイルとは別に、テキストを以下のように CSV として出力します。コメント一覧として活用したり、あとで以前のコメントとして流用したりすることができます。

	A	B	C	D	E	F	G
1	C:\Users\foo\レポート.pdf.axl						
2	ページ番号	文字列	色	フォントの	X座標(mm)	Y座標(mm)	
3	1	構成① 段落頭下げをすること。	2	18	25.3	6.1	
4	1	表現① 口語・体言止めとしない。	3	18	150.4	6.1	
5	1	情報不足① 引用・出典確認を明記する。	2	18	1.8	55.6	
6	1	誤字脱字①	2	18	188.1	64.7	
7	1	情報不足② 引用・出典確認を明記する。	2	18	184.5	100.1	
8	1	誤字脱字②	2	18	188.1	124	
9	1	構成② 口語・体言止めとしない。	2	18	1.8	99.9	
10	1	誤字脱字③	2	18	1.8	127.6	
11	1	論理② 口語・体言止めとしない。	2	18	1.8	134.1	
12	1	誤字脱字④ 不適切な接続詞。	2	18	1.8	152.4	

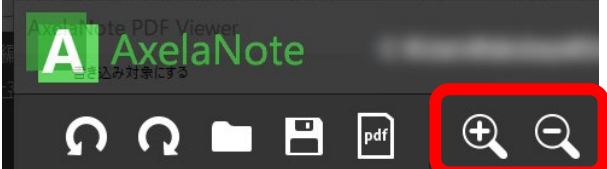

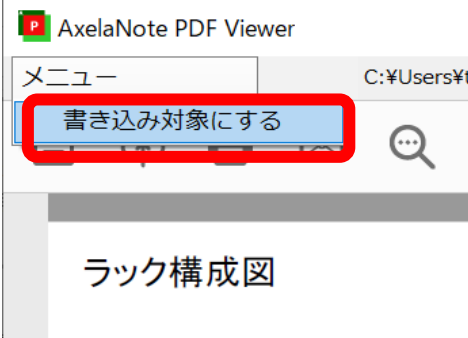
8. 操作方法

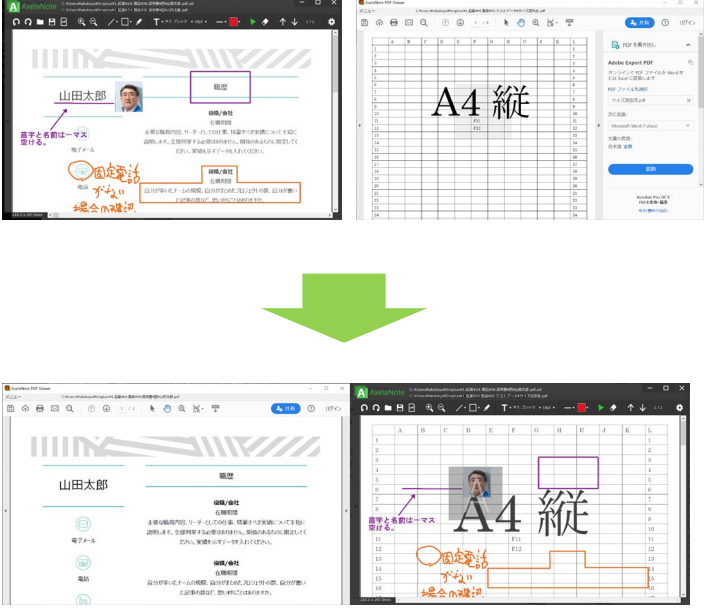


8.1 移動




以下の方法で画面内移動および拡大縮小を行えます。

インタフェース	機能	操作対象
キーボード	上下左右 小スクロール	上下左右カーソルキー
	次ページ、 前ページ移動	Ctrl+上下カーソルキー、もしくは Ctrl+左右カーソルキー
	上下 大スクロール	PageUP、PageDown キー
	拡大縮小	Ctrl+「,」、Ctrl+「.」
	最初のペー ジ、最後のペ ージ	Home キー、End キー
	ウインドウ 移動	Ctrl+Alt+SHIFT+カーソルキー
	ウインドウ 位置初期化	Alt+Space AxelaNote が画面外に出て操作できなくなったときに使用する ことで、プライマリモニタの左上に強制的に移動します。
マウス/タッチ	上下 小スクロール	ホイール、 もしくは画面上の垂直スクロールバー
	左右 小スクロール	画面上の水平スクロールバー
	フリースクロ ール	手のひらツールを選択して画面をドラッグ、 
	上下左右スク ロール	マウス中ボタンを押しながらスクロールさせる方向にカーソ ルを動かします。
	ページ ジャンプ	メニューの右にあるページ表示を左クリックし、ページを選 択します。

インタフェース	機能	操作対象
		
	次ページ、 前ページ移動	<p>メニュー右側にある上下の矢印を左クリックします。</p> 
	画面サイズ変更	<p>ウィンドウ端をドラッグして離します。</p>

インタフェース	機能	操作対象
	最大化 元に戻す	画面上部をダブルクリックします。
	拡大縮小	<p>Ctrl+ホイール、もしくは メニューの拡大縮小ボタンを左クリックします。</p> 
	書き込み対象 移動	<p>AxelaNote 書き込み対象の PDF は 1 つですが、移動させる ことができます。これにより参照用の PDF にも書き込みを重 ね合わせて、書き込むことができます。</p> <p>① 書き込み対象とする PDF を AxelaNote にドラッグ&ド ロップします。</p>  <p>② 新たに PDF ビューアが起動するので、メニューから「書 き込み対象とする」を選択します。</p>  <p>③ 書き込み対象が移動しました。</p>

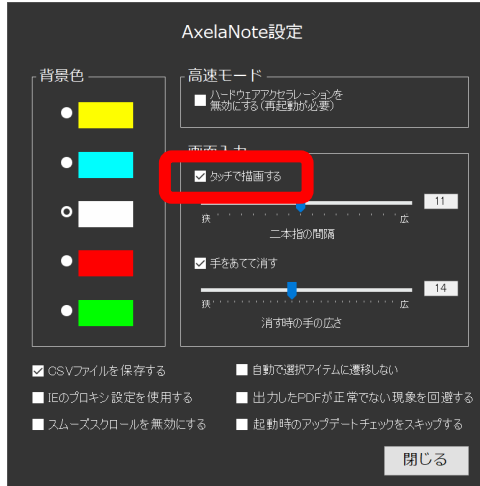
インタフェース	機能	操作対象
		 <p>The top row of images shows a PDF viewer displaying a resume for '山田太郎' (Yamada Taro) on the left and a spreadsheet on the right. A large green arrow points down to a second row of images. In the second row, the resume is zoomed in, and the spreadsheet is zoomed out, with the text 'A4 縦' (A4 Vertical) overlaid on both.</p>
タッチ	フリースクロール	<p>画面をタッチしてスライドすることで、スクロールができます。</p>  <p>「タッチで描画する」モードの場合は、2本指でタッチすることでスクロールができます。(1本指の場合は描画になります。)</p>  <p>The first image shows a hand icon pointing to the resume content. The second image shows a two-finger hand icon pointing to the same content, illustrating the gesture for scrolling.</p>

インタフェース	機能	操作対象
	<p>拡大縮小</p>	<p>ピンチイン・ピンチアウト（二本指でタッチし、両指を近づけると縮小、遠ざけると拡大）すると、拡大縮小ができます。</p> <p>■ 拡大</p>  <p>■ 縮小</p>  <p>どのくらい両指を近づけるもしくは遠ざけると拡大縮小が処理されるかは、設定の「二本指の間隔」で指定することができます。</p> 

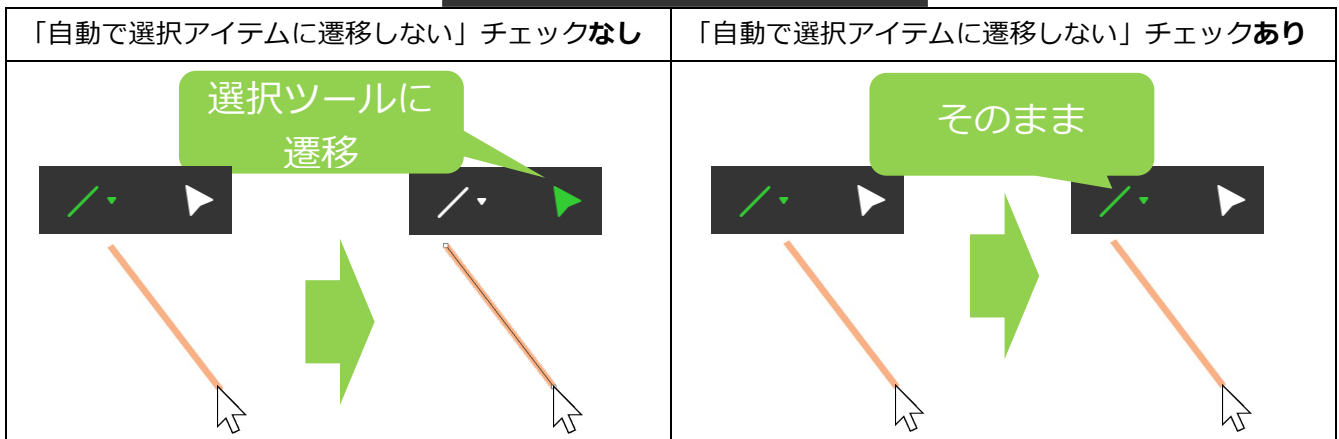
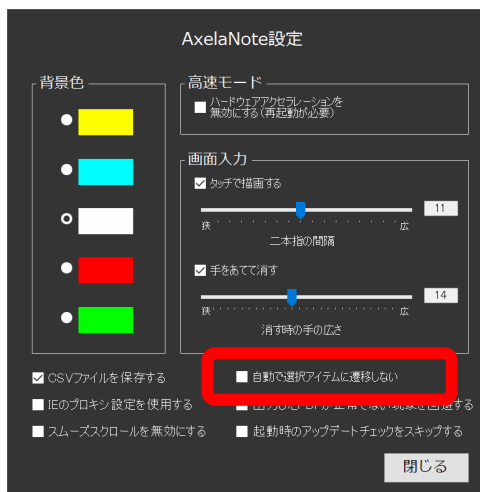
8.2 編集

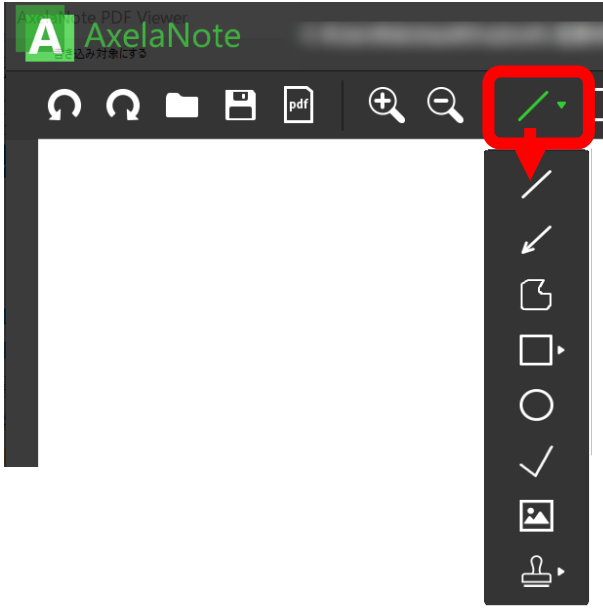
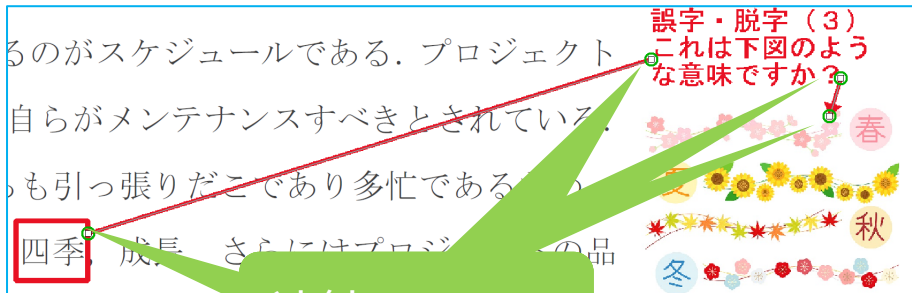
以下の方法で書き込んだり消したりできます。

タッチで書き込んだり消したりする場合は、設定の「タッチで描画する」にチェックを入れてください。機種によってはペンでも内部的にタッチとして処理される場合があるので、ペンで描画しようとしてもできない場合もチェックしてください。

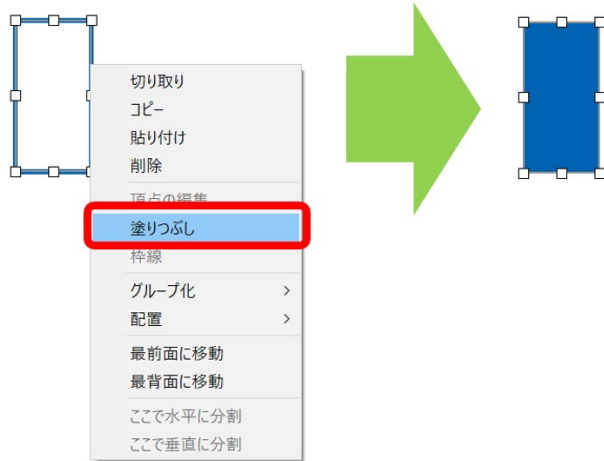
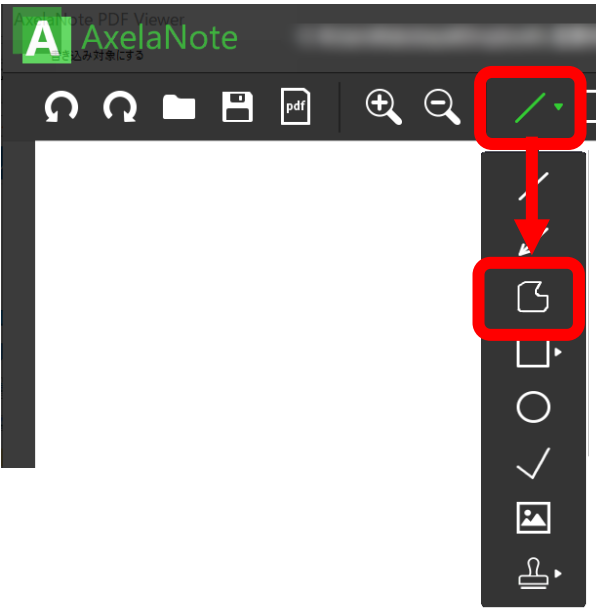


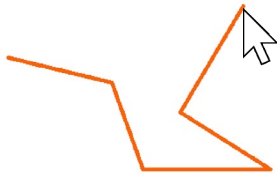

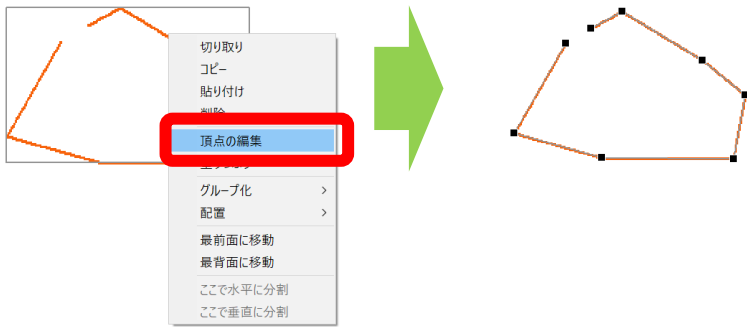
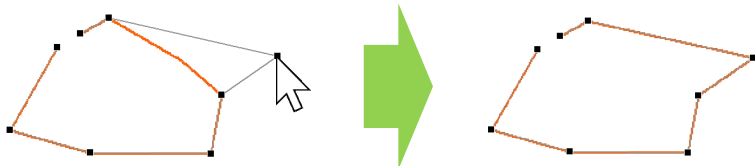
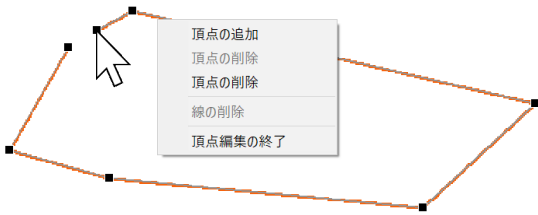
既定では描画したオブジェクトは自動で選択し選択ツールに遷移しますが（フリーハンドをのぞく）、連続で描画する場合は設定の「自動で選択アイテムに遷移しない」をチェックしてください。



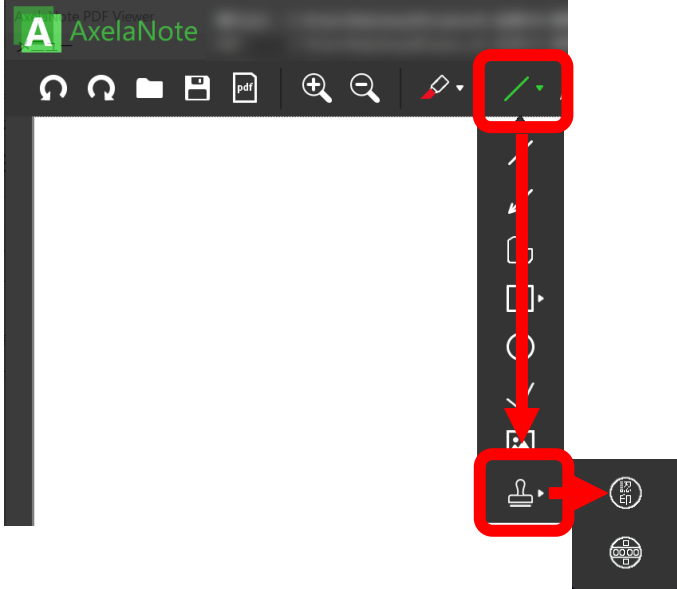

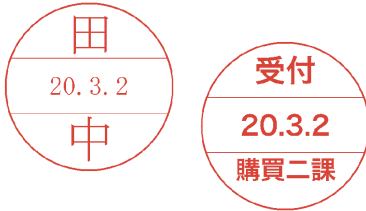
機能	利用 インタフェース	内容
線と四角を描く	マウス タブレットペン タッチ	<p>線オブジェクトと四角オブジェクトを描くことができます。1回押すと選択、選択した状態でもう一度押すと線、矢印、四角、円、チェックを選べます。なお、線オブジェクト系は描画中にSHIFTキーを押せばなしにすることで、縦もしくは横にまっすぐに引くことができます。</p>  <p>(1) 連結</p> <p>フリーフォームを除く線オブジェクトは四角オブジェクト、画像オブジェクト、スタンプオブジェクト、テキストオブジェクトと連結させることができます。連結した線を選択すると、連結している端点に「○」印が付きます。</p>  <p>線オブジェクトに連結されたオブジェクトを移動させても、線が追従するようになります。</p>

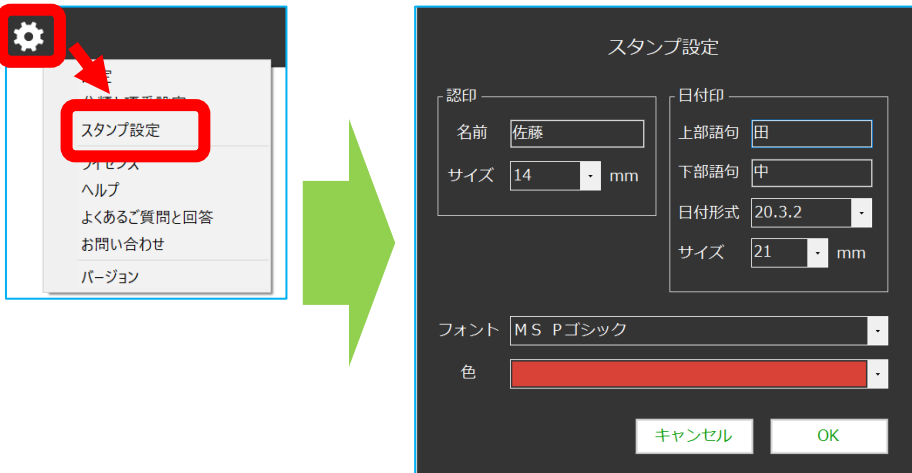
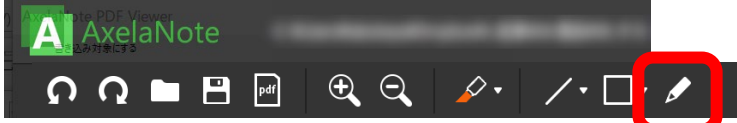

機能	利用 インタフェース	内容
		<div data-bbox="544 353 1455 645"> <p>るのがスケジュールである。プロジェクト 自らがメンテナンスすべきとされている も引っ張りだこである 四季 成長、さら</p> <p>誤字・脱字 (3) これは下図のよう な意味ですか?</p> <p>春 夏 秋 冬</p> <p>移動しても、</p> </div> <div data-bbox="544 728 1455 1019"> <p>るのがスケジュールである。プロジェクト 自らがメンテナンスすべき も引っ張りだこであり 四季 成長</p> <p>誤字・脱字 (3) これは下図のよう な意味ですか?</p> <p>春 夏 秋</p> <p>線が追従</p> </div> <p>CTRL キーを押しながら線オブジェクトを書き込み、移動、もしくはサイズ変更すると連結を解除できます（連結している端点に「○」印がつかなくなります）。</p> <div data-bbox="544 1227 1161 1646"> <p>Ctrl キーを押しながらサイズ変更で連結を解除できる</p> </div>

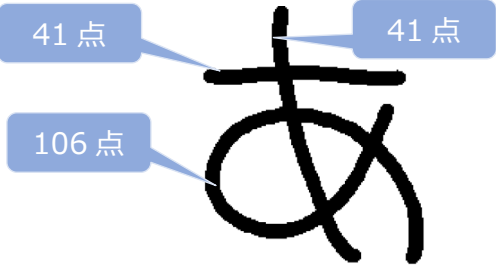
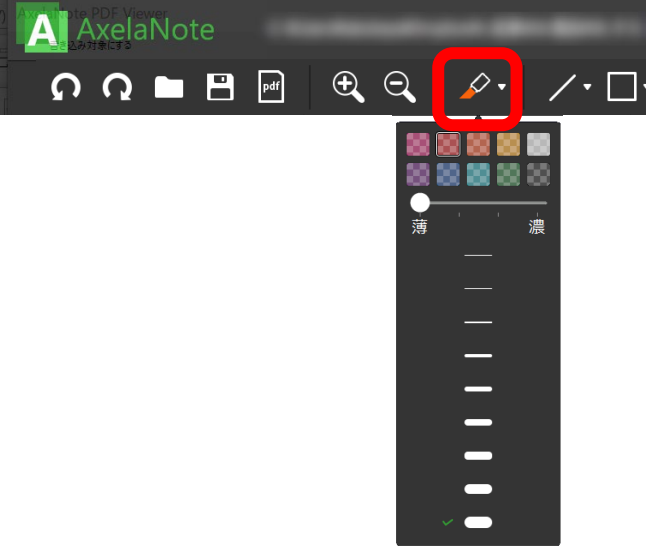
機能	利用 インタフェース	内容
		<p>四角オブジェクト系は右クリックから塗りつぶしを選択することで塗りつぶすことができます。もう一回選択すると塗りつぶしが解除されます。</p> 
<p>フリー フォーム を描 く</p>	<p>マウス タブレットペン タッチ</p>	<p>複数の頂点を線をつないだ図形をフリーフォームとして描くことができます。</p> 

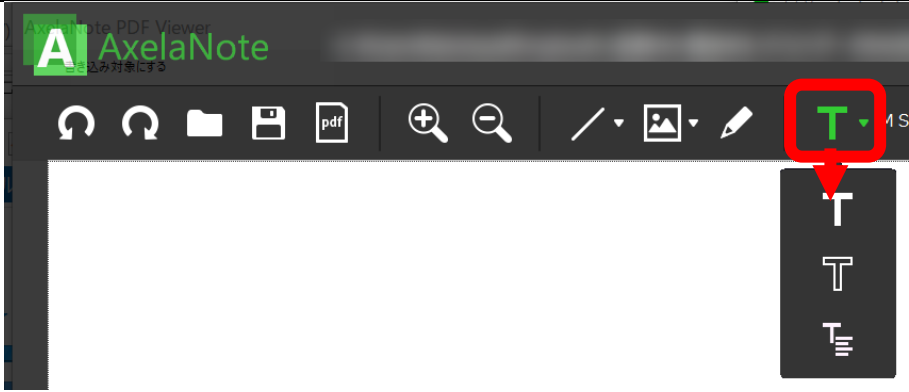

機能	利用 インタフェース	内容
		<p>左クリック毎に新しい頂点が生成され、頂点同士が順に連結した状態で描かれます。ダブルクリックで確定します。</p>  <p>頂点を最初の頂点近くにもっていくと、赤丸が表示されます。この状態で確定すると、閉じたフリーフォームになります。</p>  <p>確定したフリーフォームは、選択後右クリックで頂点編集モードに入ることができます。</p>  <p>頂点の編集モードでは、頂点をドラッグすることで頂点の移動ができます。</p>  <p>線もしくは頂点上で右クリックすると、頂点の追加や削除ができます。「頂点編集の終了」で、頂点編集モードを終了します。</p> 

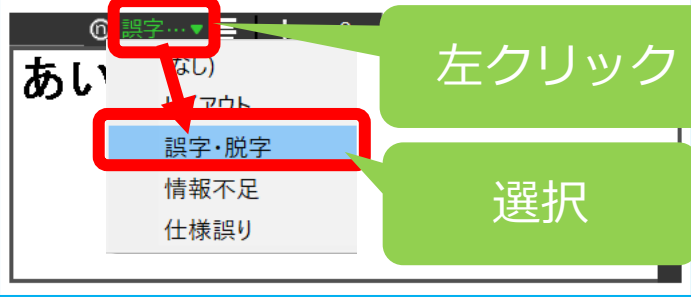
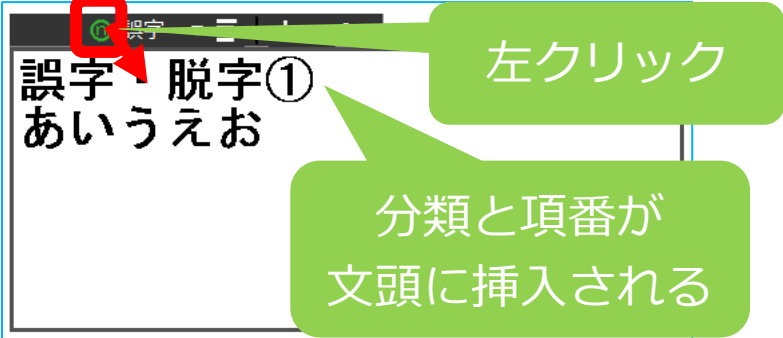
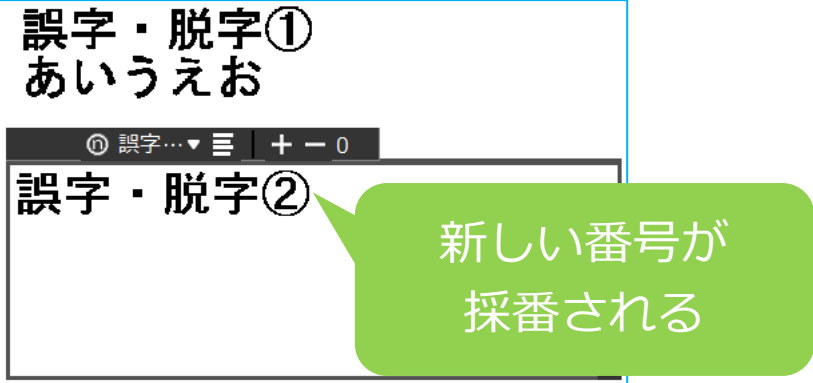
機能	利用 インタフェース	内容
		<p>フリーフォームを選択し後右クリックで「塗りつぶす」を選択すると塗りつぶすことができます。もう一度選択すると塗りつぶしを解除できます。</p> 
<p>画像を 描く</p>	<p>マウス タブレットペン タッチ</p>	<p>ファイルから画像を読み込み、画像オブジェクトとして貼り付けることができます。png、jpeg、tiff、bmp など一般的な画像フォーマットに対応しています。</p> 

機能	利用 インタフェース	内容
		<p>なお、エクスプローラーから画像ファイルをドラッグ&ドロップ、もしくはクリップボードからペーストでも貼り付けることができます。</p> <p>画像は右クリックで回転を選ぶことにより 90 度ずつ回転させることができます。</p>
<p>スタンプを押印する</p>	<p>マウス タブレットペン タッチ</p>	<p>スタンプを押印することができます。</p>  <p>認印</p>  <p>日付印</p>  <p>内容はメニューにて歯車のアイコンをクリックし「スタンプ設定」をクリックすることにより設定することができます。</p>

機能	利用 インタフェース	内容
		
フリー ハンド で描く	マウス タブレットペン タッチ	<p>画面に自由にフリーハンドオブジェクトを描くことができます。</p>  <p>フリーハンドによる書き込みは、タブレットペンの場合は画面にペンをくっつけてから離すまで、マウスの場合は左ボタンを押してから離すまでが1つのオブジェクトとなります。</p> <p>【例】一般的な書き順に従って「東」という字をフリーハンドで描いた場合、8つのオブジェクトが生成されることとなります。</p>  <p>1つのオブジェクトあたりの頂点の最大数 1000 です。最大数を超えると、そこで一旦書き込みは打ち切られます。頂点数は書くスピード、PCのタブレットペンやマウスの分解能に依存します。参考までに、標準的なタブレットPCでゆっくり「あ」を書いた場合の頂点数は以下のようになります。</p>

機能	利用 インタフェース	内容
		
蛍光ペンで描く	マウス タブレットペン タッチ	<p>画面に自由に蛍光ペンオブジェクトを描くことができます。</p>  <p>使い方はフリーハンドと同じですが、色と太さは蛍光ペンだけで独自に保持しています。また、SHIFT キーを押しながら書くことで縦や横まっすぐに書くことができます。</p>
テキストを書く	マウス タブレットペン タッチ キーボード	<p>テキストオブジェクトを描くことができます。1回押すと選択、2回押すと縁取りなし、縁取りありを選べます。</p> <p>「テキスト」ボタンを左クリックしたあとに書く場所を左クリックするとエディットボックスが現れるので、その中にテキストを書いてください。エディットボックス外を左クリックすると、確定し書き込まれます。</p>

機能	利用 インタフェース	内容
		 <p>(1) 移動とサイズ変更</p> <p>エディットボックスは、エディットボックス左上の黒色のタブをドラッグすることで移動させることができます。また、右下のタブでエディットボックスのサイズを変更できます。</p>  <p>画面外にエディットボックスを移動させようとする、ページがスクロールします。ただし、ページをまたがることはできません。</p> <p>(2) 分類と項番</p> <p>予め登録した分類と項番をテキスト文頭に挿入することができます。</p>

機能	利用 インタフェース	内容
		 <p>左クリック</p> <p>選択</p> <p>↓</p>  <p>左クリック</p> <p>分類と項番が 文頭に挿入される</p> <p>項番はページ内の同じ分類の中で最も大きい番号を自動的に付与します。例えば「誤字・脱字①」が既にある場合は「誤字・脱字②」が設定されます。項番は分類ごとに1番から振られます。</p>  <p>新しい番号が 採番される</p> <p>なお、AxelaNote はテキストボックスの先頭にあるもののみ分類と認識します。例えば上記で「誤字・脱字①」を2行目にした場合、分類ではなく文字列として扱いますので、他のテキストボックスで新しい項番を付与すると再び「誤字・脱字①」が生成されます。</p> <p>分類、項番の形式はメニューにて歯車のアイコンをクリックし「分類と項番設定」をクリックすることにより設定することができます。</p>

機能	利用 インタフェース	内容
----	---------------	----



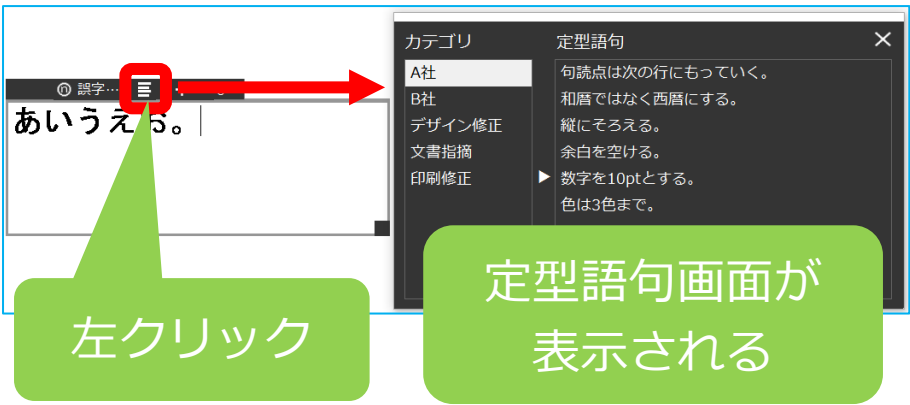
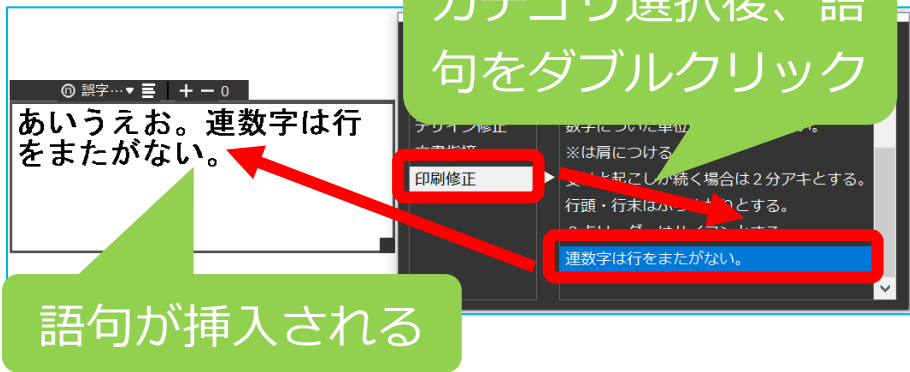

分類は右クリックにて追加、変更、削除ができます。

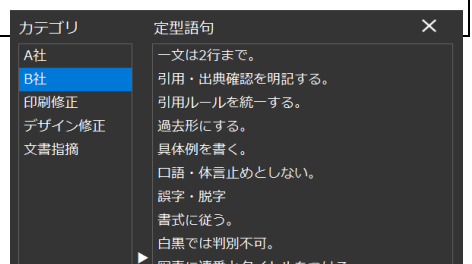
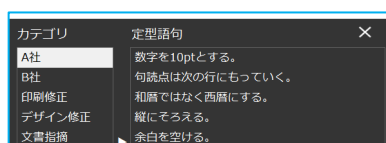


項番形式は選択肢から選びます。




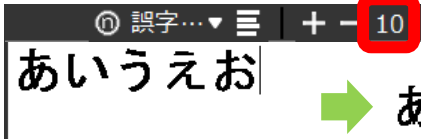
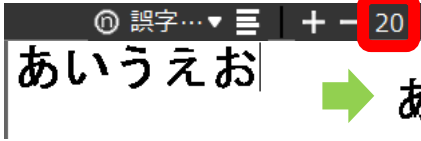
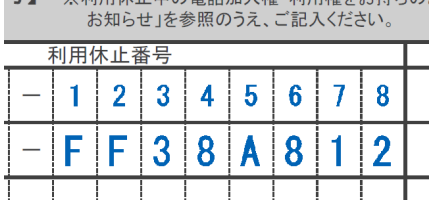
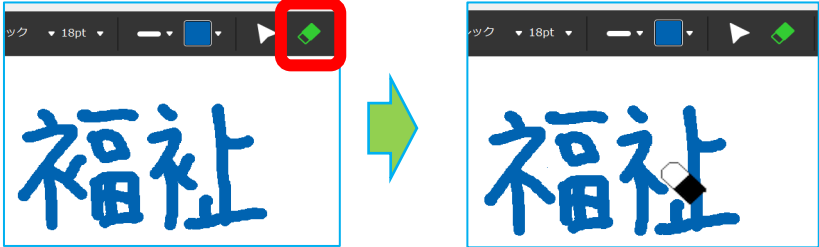
(3) 定型語句

機能	利用 インタフェース	内容
		<p>予め登録した語句をテキストに挿入することができます。</p>  <p>カテゴリを選択し、定型語句をダブルクリックすると、語句がエディットボックスに挿入されます。</p>  <p>カテゴリと定型語句は右クリックにて追加、変更、削除ができます。</p>  <p>定型語句ウインドウは他の描画ツールを使用中でも、「×」ボタンを押さない限り表示させることができます。</p> <p>また、定型語句ウインドウはサイズを変えることができます。</p>




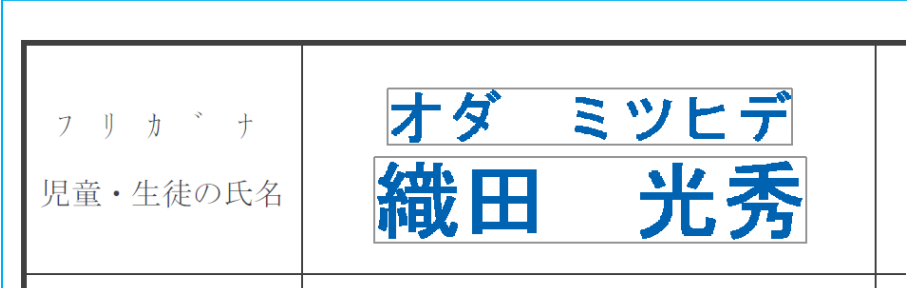
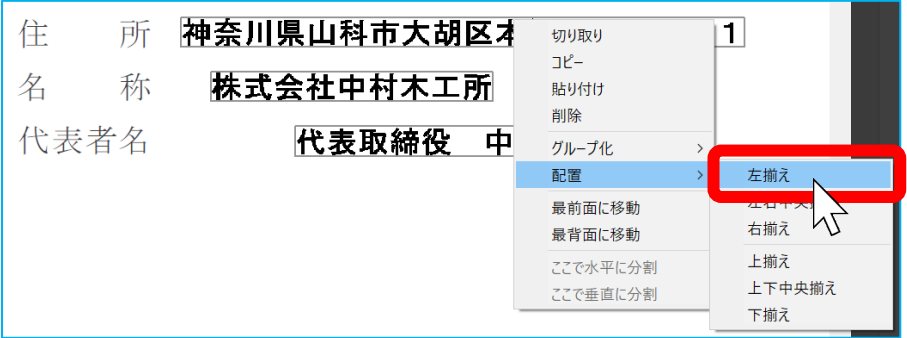
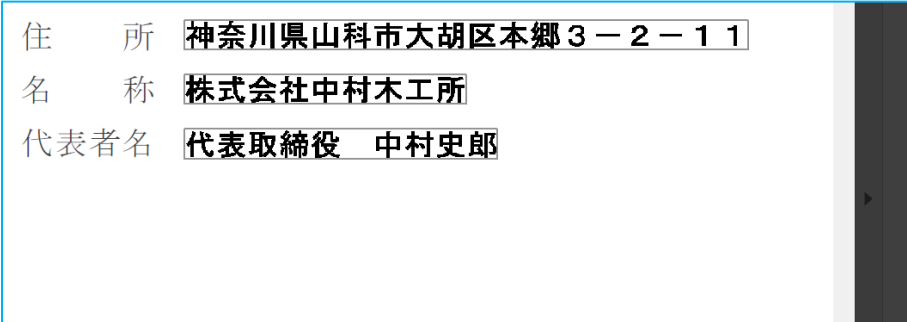
機能	利用 インタフェース	内容
		<p data-bbox="938 412 991 658" style="text-align: center;">➔</p> <p data-bbox="539 831 1426 972">なお、定型語句はメニューのテキストから定型語句テキストを選択することで定型語句を貼り付けた状態でエディットボックスを開くこともできます。</p>  <p>The screenshot shows the AxelaNote PDF Viewer interface. In the top right corner, a red box highlights the text icon (T) in the toolbar. A red arrow points down to a dropdown menu containing a text icon with a list symbol. Another red box highlights this menu icon. Below this, a larger screenshot shows a mouse cursor clicking on the text icon in the toolbar (labeled '描画領域 クリック'). This opens a menu where the text icon is highlighted (labeled '定型語句を選択'). A red box highlights the '過去形にする' option in the menu (labeled '語句を選択'). A large green arrow points downwards from the bottom of the diagram.</p>

機能	利用 インターフェース	内容
		<div data-bbox="703 293 1286 573" data-label="Image"> </div> <p data-bbox="539 611 1433 698">定型語句ウインドウの下部にある「適用」欄からは、予め AxelaNote に固定登録されている予約語句を選べます。</p> <ul data-bbox="539 719 711 752" style="list-style-type: none"> ● 分類集計 <p data-bbox="593 772 1428 860">書き込んだ分類の集計結果を出力します。例えば下図のようにページ内に分類「文言」が3つ、分類「色調」が2つあった場合、</p> <div data-bbox="598 875 903 1099" data-label="Image"> </div> <p data-bbox="593 1108 1428 1196">定型語句ウインドウで「分類集計」をダブルクリックするとテキストボックスに集計の語句を出力することができます。</p> <div data-bbox="598 1211 1326 1588" data-label="Image"> </div> <p data-bbox="539 1599 1439 1740">なお AxelaNote はテキストボックスの先頭にある文字列のみ分類と認識します。例えば上記で「文言②」がテキストボックスの先頭でない場合は集計対象外になります。</p> <p data-bbox="568 1816 823 1850">(4) 文字間隔の変更</p> <p data-bbox="539 1870 1447 2011">「+」「-」ボタンで文字間隔の調整ができます。数字は文字間隔の値を表します。文字間隔は入力中には反映されず、入力完了後に反映されます。</p>


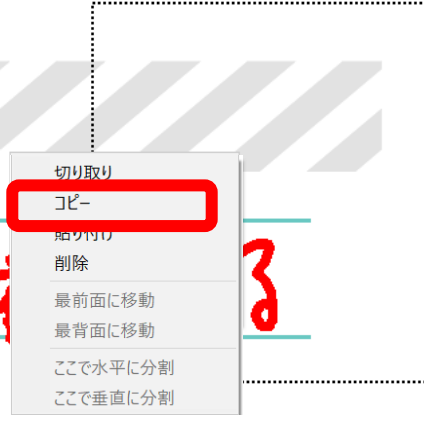
機能	利用 インタフェース	内容
		<ul style="list-style-type: none"> ・ 間隔 0 の表示例  <ul style="list-style-type: none"> ・ 間隔 10 の表示例  <ul style="list-style-type: none"> ・ 間隔 20 の表示例  <p>この機能は、下図のように一文字ずつ枠内に記入しなければいけない申請書などで文字間隔を調整する場合にご活用いただけます。</p>  <p>なおエディットボックスの枠を超えて表示することができませんので、見切れる場合は適宜エディットボックスを右に伸ばしてご利用ください。</p> <p>テキストツール選択中にテキストオブジェクトを左クリックすることにより再編集ができます。</p>
消しゴ ムで消 す	マウス タブレットペン タッチ	<p>描いたものを消すことができます。消去はオブジェクト単位です。なお、テキストオブジェクトは誤消去防止のため複数回往復しないと消えないようになっています。</p> 
アンド ウ	マウス タブレットペン	<p>オブジェクト書き込み、貼り付け、切り取り、削除を対象として 20 回分、巻き戻したり進めたりできます。</p>


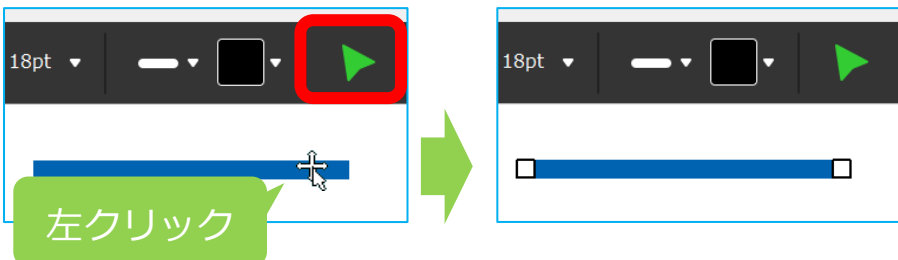
機能	利用 インタフェース	内容
リドウ	タッチ	
オブジェクトを移動する	マウス タブレットペン タッチ	<p>メニュー「選択ツール」を左クリックし、オブジェクトをドラッグすることで、オブジェクトを移動することができます。なお、SHIFTキーを押しながらドラッグすることで、水平もしくは垂直方向にまっすぐ移動することができます。</p>  <p>画面外にオブジェクトを移動させようとする、ページがスクロールします。ただし、ページをまたがることはできません。 テキストオブジェクトは<u>ダブルクリック</u>すると再編集できます。</p>

機能	利用 インタフェース	内容
		<div data-bbox="539 286 1369 958" data-label="Image"> </div> <p data-bbox="539 1016 1439 1160">移動はオブジェクト毎に行われます。例えば、28 ページにあるフリーハンドで書き込んだ「東」という字の場合、8 個のオブジェクトで構成されており、それら 1 個 1 個を個別に移動することができます。</p> <p data-bbox="555 1182 1241 1214">【例】「東」の中心の横棒のみを選択して移動した場合</p> <div data-bbox="715 1249 1279 1442" data-label="Image"> </div> <p data-bbox="539 1460 1426 1545">なお、Ctrl を押しながらドロップすることでオブジェクトのコピーができます。</p> <div data-bbox="590 1518 1359 1886" data-label="Image"> </div>

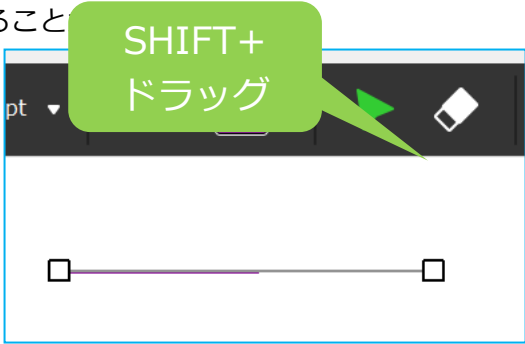
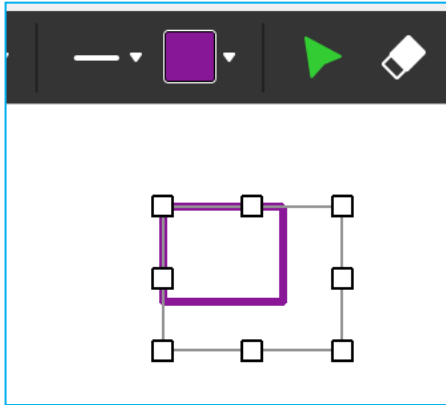
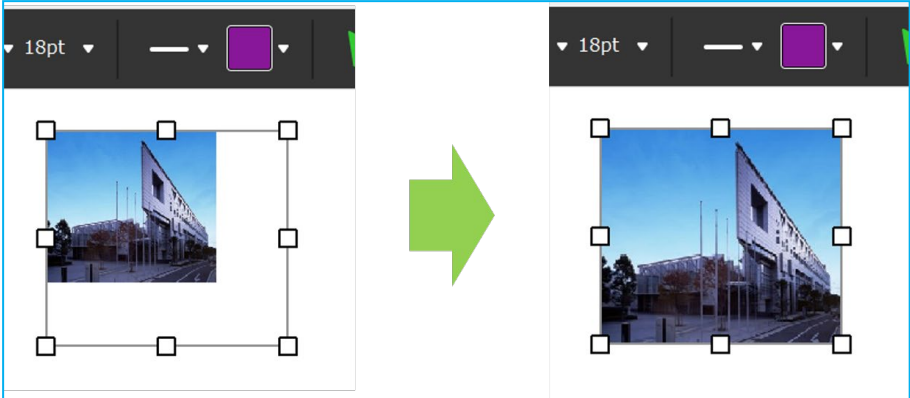
機能	利用 インタフェース	内容
オブジェクトを少し移動する	キーボード	<p>カーソルキーで上下左右に移動ができます。</p> <p>【例】左に少し移動する場合</p> <p>① オブジェクトを選択し、左キーを連打する。</p>  <p>② オブジェクトが左に移動する。</p> 
整列する	マウス タブレットペン タッチ	<p>オブジェクトを上下左右に揃える、及び中央揃えることができます。</p> <p>【例】左に揃える場合</p> <p>① オブジェクトを選択し右クリックから「左揃え」を選択</p>  <p>② オブジェクトが左に揃う。</p> 

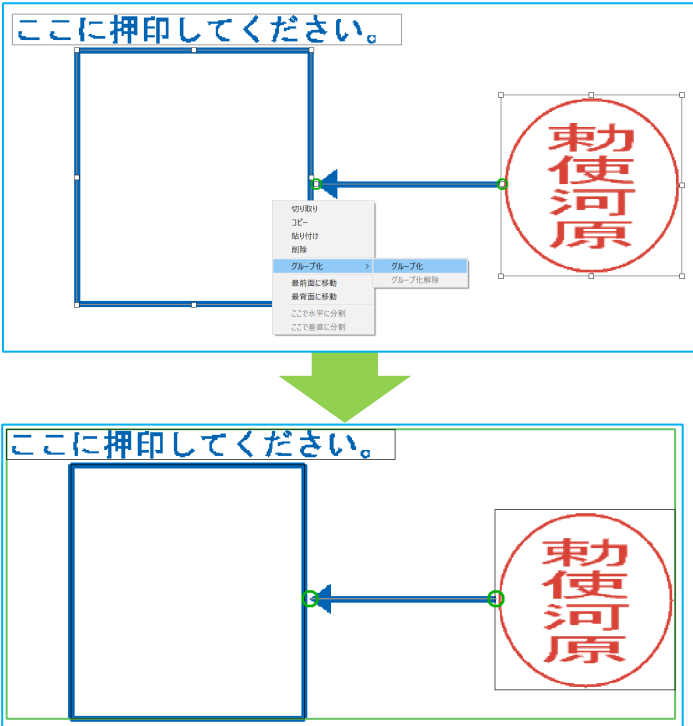
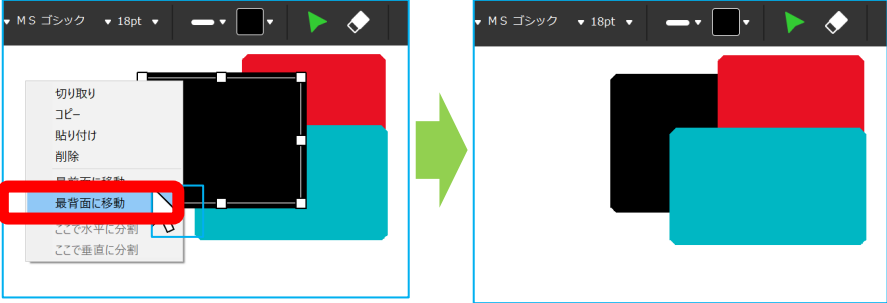
機能	利用 インタフェース	内容
全てを 選択す る	キーボード	<p>Ctrl+「A」でページに関連する全てのオブジェクトを選択できます。ページ外にあるものも対象となります。</p> 
領域選 択する	マウス タブレットペン タッチ	<p>メニュー「選択ツール」を左クリックし、左ドラッグで領域を指定します。</p>  <p>指定した領域内にあるオブジェクトは全て選択されます。領域を左ドラッグすることで、移動ができます。画面外に領域を移動させようとすると、ページがスクロールします。ただし、ページをまたがることはできません。</p>

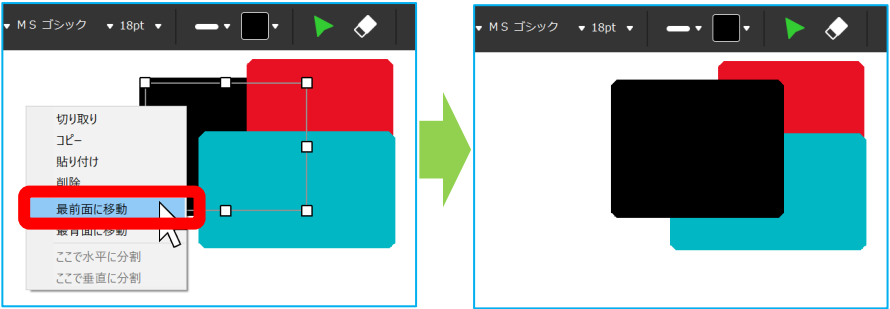
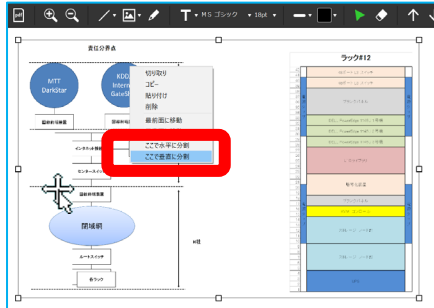
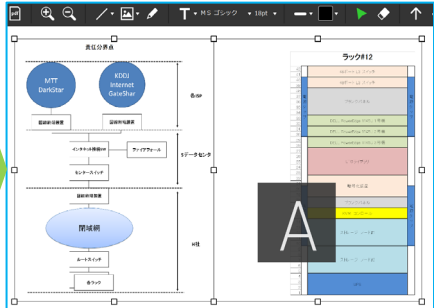

機能	利用 インタフェース	内容
領域切り取り	マウス タブレットペン タッチ	<p>領域選択後、Ctrl+「x」、もしくは右クリックで「切り取り」（タブレットペンの場合は右クリックの代わりに長押し）を選ぶことにより切り取りができます。</p>  <p>The screenshot shows a context menu over a selected area. The menu items are: 切り取り (Cut), 貼り付け (Paste), 削除 (Delete), 最前面に移動 (Move to front), 最背面に移動 (Move to back), ここで水平に分割 (Divide horizontally here), and ここで垂直に分割 (Divide vertically here). The '切り取り' option is highlighted with a red rectangular box.</p>
領域コピー	マウス タブレットペン タッチ	<p>領域選択後、Ctrl+「c」、もしくは右クリック（タブレットペンの場合は右クリックの代わりに長押し）で「コピー」を選ぶことによりコピーができます。</p>  <p>The screenshot shows a context menu over a selected area. The menu items are: 切り取り (Cut), コピー (Copy), 貼り付け (Paste), 削除 (Delete), 最前面に移動 (Move to front), 最背面に移動 (Move to back), ここで水平に分割 (Divide horizontally here), and ここで垂直に分割 (Divide vertically here). The 'コピー' option is highlighted with a red rectangular box.</p>

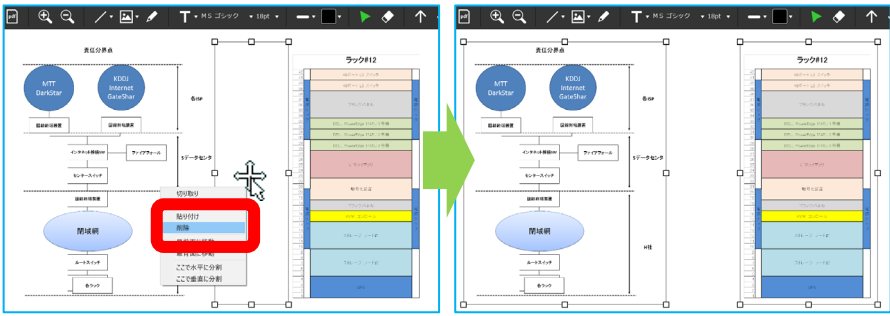
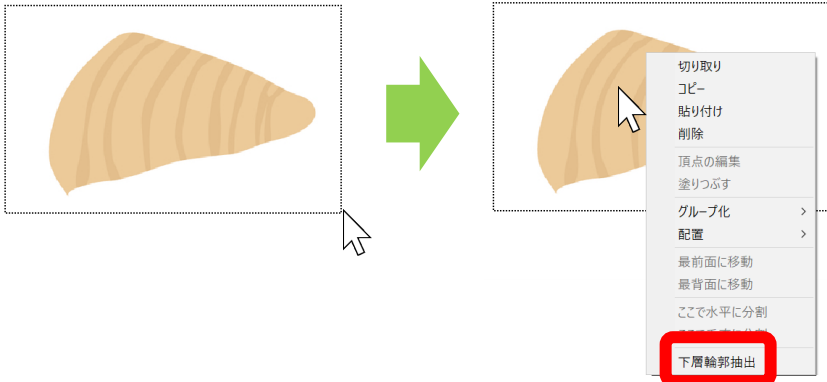
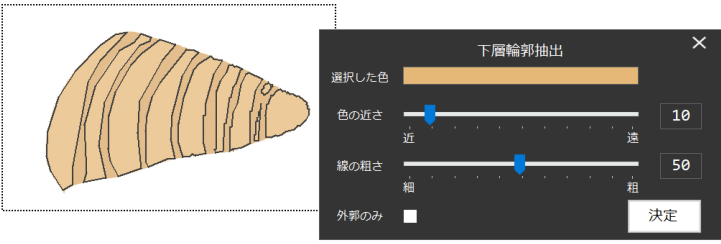
機能	利用 インタフェース	内容
領域貼 り付け	マウス タブレットペン タッチ	<p>領域選択後、Ctrl+「v」、もしくは右クリック（タブレットペンの場合は右クリックの代わりに長押し）で「貼り付け」を選ぶことにより貼り付けができます。</p>  <p>なお、AxelaNote 外でコピーした画像を貼り付けることもできます。</p>
領域削 除	マウス タブレットペン タッチ	<p>領域選択後、Del キー、もしくは右クリック（タブレットペンの場合は右クリックの代わりに長押し）で「削除」を選ぶことにより削除ができます。</p> 
選択す る	マウス タブレットペン タッチ	<p>メニュー「選択ツール」を左クリックし、オブジェクトを左クリックすると選択できます。</p> 

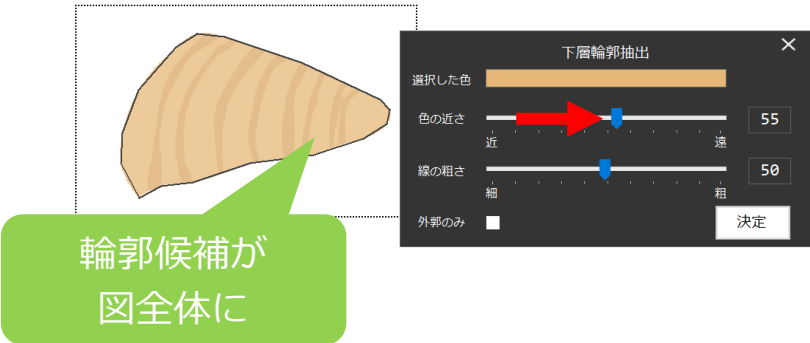
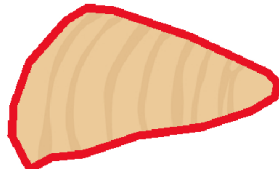
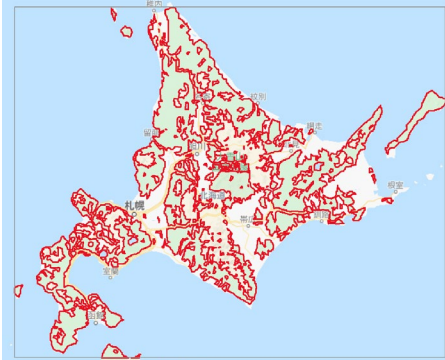
機能	利用 インタフェース	内容
		<p>選択済みオブジェクトを SHIFT キーを押しながら 1 回左クリックすると選択解除できます。</p>  <p>選択済みオブジェクト以外のオブジェクトを加えて選択する場合は、そのオブジェクトで SHIFT キーを押しながら左クリックをします。</p> 
サイズ を変更 する	マウス タブレットペン タッチ	<p>選択したオブジェクトで、サイズ変更が行えるものには小さい四角のインジケータ (□) がつきます。インジケータを左ドラッグすることでオブジェクトの大きさや長さを変更することができます。オブジェクトの種別でできることが異なります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● フリーハンドオブジェクト：サイズ変更はできません。 ● 線オブジェクト：長さや方向を変更できます。 

機能	利用 インタフェース	内容
		<p>SHIFT キーを押しながら操作すると、水平もしくは垂直にまっすぐ伸縮させること</p>  <ul style="list-style-type: none"> ● 四角オブジェクト：サイズ変更ができます。縦横比も変更できます。  <ul style="list-style-type: none"> ● 画像オブジェクト：サイズ変更ができます。縦横比は変更できません。  <ul style="list-style-type: none"> ● スタンプオブジェクト：サイズ変更ができます。縦横比は変更できません。 ● テキストオブジェクト：サイズ変更はできません。

機能	利用 インタフェース	内容
グループ化する	マウス タブレットペン タッチ	<p>複数のオブジェクトを選択後、右クリックにて「グループ化」を選ばと、グループ化ができます（タブレットペンの場合は右クリックの代わりに長押し）。</p> 
最前面に移動 ／最背面に移動	マウス タブレットペン タッチ	<p>メニュー「選択ツール」を左クリックし、オブジェクト上で右クリック「最前面に移動」を選ぶとオブジェクトが最前面に移動します（タブレットペンの場合は右クリックの代わりに長押し）。</p>  <p>同様に、右クリック「最前面に移動」を選ぶとオブジェクトが最背面に移動します（タブレットペンの場合は右クリックの代わりに長押し）。</p>

機能	利用 インタフェース	内容
		
画像を 水平に 分割/ 垂直に 分割	マウス タブレットペン タッチ	<p>メニュー「選択ツール」を左クリックし、画像オブジェクトの任意の場所にて右クリックから「ここで水平に分割」「ここで垂直に分割」を選ぶと、画像オブジェクトを水平もしくは垂直に分割することができます。この機能を用いて、画像オブジェクトの不要な部分を削除することができます。大きな画像オブジェクトは動作や操作性に対して負担になるので、不要な部分は削除することを推奨します。</p> <p>【例】大きな画像オブジェクトにあるなにもない領域を削除する場合</p> <p>① 削除する領域の左側で右クリック「ここで垂直に分割」 →画像オブジェクトが左右2つに分割されます。</p>  <p>② 削除する領域の右側で右クリック「ここで垂直に分割」 →①で分割した画像の右の画像オブジェクトがさらに左右2つに分割されます。</p>  <p>② 真ん中の画像オブジェクトで右クリック「削除」</p> 


機能	利用 インタフェース	内容
		<p>→真ん中のなにもない領域が消えました。</p> 
輪郭を抽出する	マウス タブレットペン タッチ	<p>近い色で構成された図の輪郭をフリーフォームとして生成することができます。</p> <p>輪郭を抽出する図形を範囲選択したあと、対象となる色の部分で右クリックし「下層輪郭抽出」を選択します。</p>  <p>輪郭の候補が点滅表示され、下層輪郭抽出ダイアログが表示されます。ここで色の近さや線の粗さを設定して輪郭の候補を広げたり狭めたりすることができます。</p> <p>例えば下図の場合、右クリックした色の輪郭が候補になっていますが、</p>  <p>色の近さを上げることで輪郭の候補を図全体に広げることができます。</p>

機能	利用 インタフェース	内容
		<div data-bbox="550 331 1364 672">  </div> <p data-bbox="550 694 1428 795">「決定」ボタンをクリックすることで、フリーフォームが生成されます。</p> <div data-bbox="861 828 1141 996">  </div> <p data-bbox="550 1086 997 1120">■ 思い通りの輪郭が得られない場合</p> <p data-bbox="550 1131 1428 1288">下図は北海道の輪郭を抽出しようと緑色の部分を選択しフリーフォームを生成した例です。北海道が複数の色で構成されているため、うまく抽出できません。</p> <div data-bbox="766 1299 1212 1657">  </div> <p data-bbox="550 1713 1380 1758">そこで、海の水色の部分を選択してフリーフォームを生成します。</p>

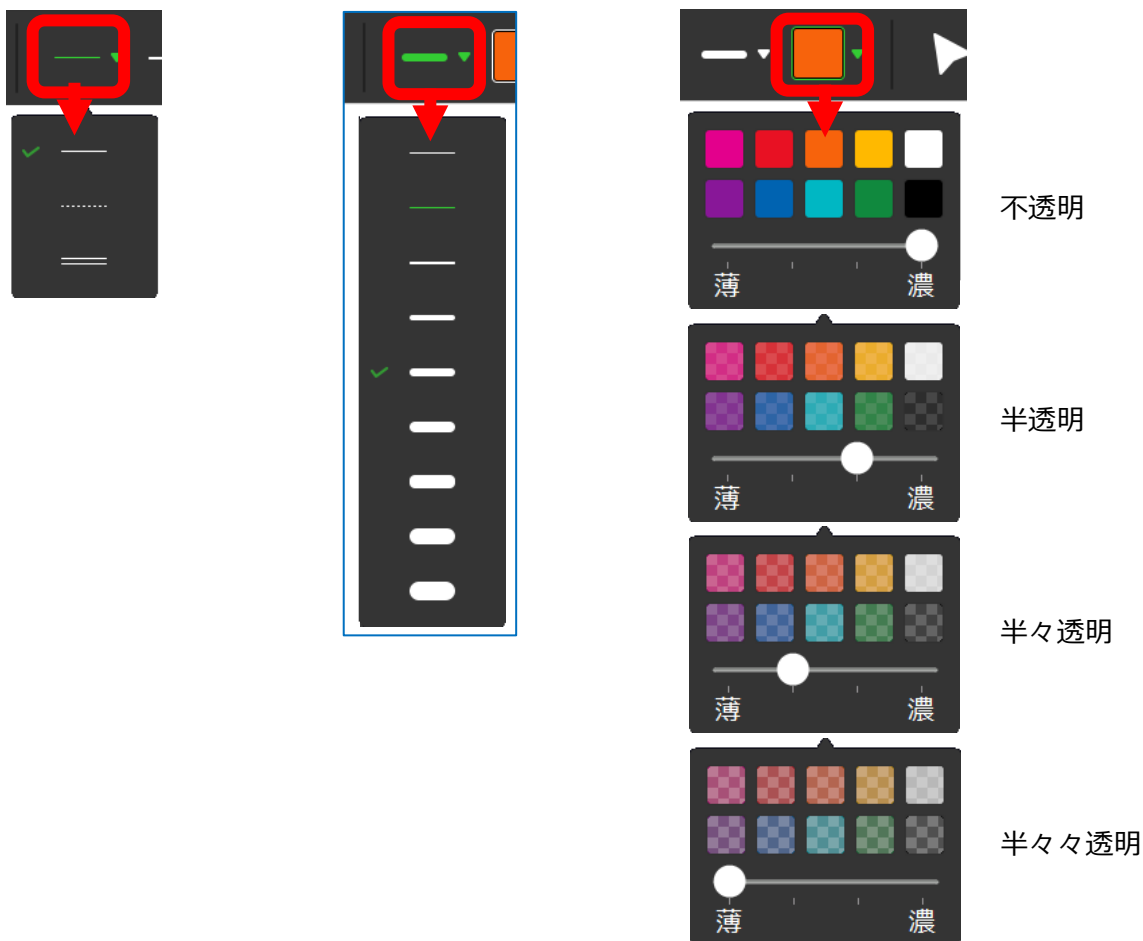
機能	利用 インタフェース	内容
		<div data-bbox="762 277 1225 667" data-label="Image"> </div> <p data-bbox="539 678 1426 768">まわりの四角を削除するには、頂点編集モードにしてから線で右クリックし「線の削除」を選択します。</p> <div data-bbox="762 779 1225 1169" data-label="Image"> </div> <p data-bbox="539 1180 1426 1270">まわりの線が消えて、北海道の輪郭を得ることができました。水色を選択したので、洞爺湖や屈斜路湖の輪郭も生成できています。</p> <div data-bbox="762 1281 1225 1671" data-label="Image"> </div>

機能	利用 インタフェース	内容
手を当てて消す	タッチ	<p>設定の「タッチで描画する」がチェックされている場合、「手を当てて消す」をチェックすると、手で黒板消しのようにオブジェクトをまとめて消すことができます（赤外線方式のタッチディスプレイの場合は本物の黒板消しでも消すことができます）。</p> <div data-bbox="740 495 1251 972" data-label="Image"> </div> <p>描画の際に画面に接触する面積が一定以上の広さの場合に「手を当てて消す」処理になります。標準的なタブレット PC では指の先端～第一関節、電子黒板など広いディスプレイでは親指の付け根あたりが使いやすい部位となります。機種によっては広すぎると反応しない場合はあるので、適度な広さが必要になります。</p> <div data-bbox="600 1245 884 1498" data-label="Image"> </div> <div data-bbox="1002 1256 1321 1476" data-label="Image"> </div> <div data-bbox="588 1615 863 1742" data-label="Text"> <p>タブレット型ノート PC では指の先端から第一関節までが利用しやすい</p> </div> <div data-bbox="900 1559 1091 1816" data-label="Image"> </div> <div data-bbox="1134 1641 1409 1727" data-label="Text"> <p>電子黒板では親指の付け根の部分が利用しやすい</p> </div> <p>電子黒板の機種によっては、黒板消しでも消すことができます。</p>

機能	利用 インタフェース	内容
		<p>「手を当てて消す」処理はディスプレイとの接触面積が一定以上になると動作します。面積のしきい値は設定にある「消すときの手の広さ」にて変更することができます。</p> 
回転する	マウス タブレットペン タッチ	<p>画像オブジェクトとスタンプオブジェクトを 90 度単位で回転させることができます。</p> 

機能	利用 インタフェース	内容
枠線を 描く	マウス タブレットペン タッチ	<p>テキストオブジェクトに枠線を描くことができます。もう一度選択すると枠線は消えます。</p> 

線、四角、フリーハンドは以下メニューにて線種と太さと色を選択できます。書き込み後もオブジェクトを選択することにより変更が可能です。



テキストは、以下メニューにて色、フォント、フォントサイズを選択できます。書き込み後もエディットボックスにて変更が可能です。



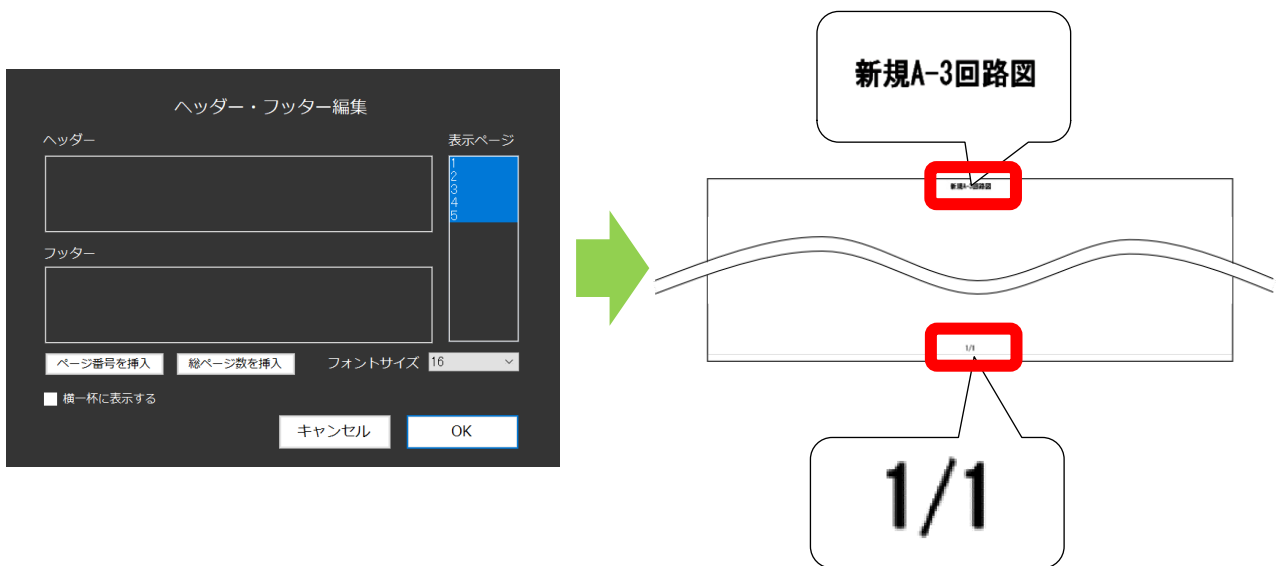
8.3 ページ処理

ページ処理は各ページ共通の設定や拡大率の変更を行います。



- ヘッダー・フッター設定

各ページ共通のヘッダー・フッター設定を指定します。最大文字数はそれぞれ 250 文字（改行を含む）です。OK ボタンをクリックすると直ちに反映されます。



- 横一杯に表示する

有効にすると、ヘッダー・フッターを横幅一杯に表示します。無効にすると中央に表示します。

- 表示ページ

ヘッダー・フッター表示するページを選択します。Ctrl を押しながらクリックすることで複数ページを選択できます。SHIFT を押しながらクリックで範囲選択ができます。なお、選択しなかったページは総ページとしてカウントされません。

- フォントサイズ

フォントサイズを選択します。デフォルトは 16 です。

- 幅に合わせる

現在表示しているページの表示倍率をページが横幅に収まるように変更します。

- 高さに合わせる

現在表示しているページの表示倍率をページが縦幅に収まるように変更します。

8.4 PDF・画像出力

開いている PDF や画像と書き込みを重ねあわせた PDF や画像を出力できます。出力は 1 ページにつき約 1～5 秒かかります。ここから印刷もできます。出力先のフォルダとファイル名は出力開始ボタンのクリック後に指定することができます。デフォルトのフォルダは開いている PDF や画像と同じフォルダ、ファイル名は開いているファイル名に拡張子「.axl.pdf」もしくは「.axl.jpg」「.axl.png」を付加したものとなります。

(例) test.pdf を開いて書き込みを PDF 出力した場合は、test.pdf.axl.pdf となります。



書き込みのあるページのみ出力するにチェックをつけると書き込みが存在するページのみ PDF 出力します。

PDF 出力は 5 種類のファイルサイズを選べます。それぞれ、以下のような特徴があります。

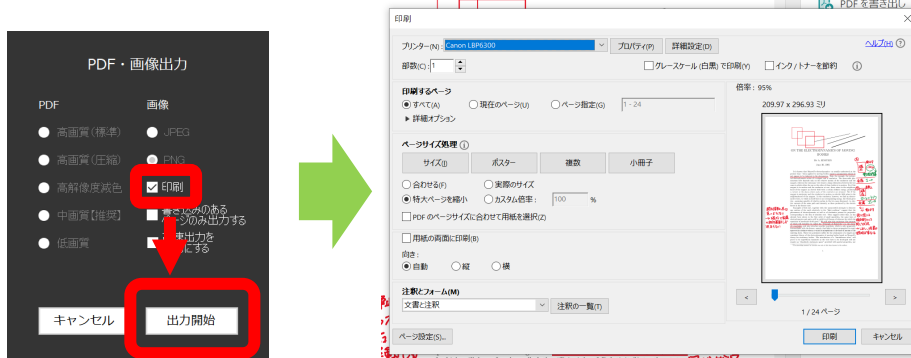
項目	特徴
高画質（標準）	文字を明瞭にします。
高画質（圧縮）	画像をできるだけ圧縮します。
高解像度減色	画像の画質をできるだけ落とさずにファイルサイズを小さくします。
中画質【推奨】	画質を多少落として高画質に比べファイルサイズを小さくします。（推奨）
低画質	画質を落としてファイルサイズを最小にします。

ページ数が多い場合、複数の PDF ファイルに分割されることがあります。

(例) ページ数の大きい largetest.pdf を開いて PDF 出力した際、分割される場合は、

「largetest0.pdf.axl.pdf」「largetest1.pdf.axl.pdf」…と「.pdf.axl.pdf」の前に 0 から始まる連番が付与されます。

印刷をする場合は「印刷」にチェックをつけて「出力開始」をクリックします。出力準備が終わったあとに、印刷ダイアログが表示されます。



■ 出力される PDF のファイルサイズ

出力される PDF のファイルサイズは元の PDF の内容に依存しますので、一概に算出はできません。画像が多いと増大する傾向にあります。以下の例を参考に画質をお選びください。

(例 1) 文字のみの A4×2 ページによる測定

元の PDF の ファイルサイズ	項目	出力される PDF の ファイルサイズ	ファイルサイズ 増率
0.6 MB	高画質 (標準)	0.9 MB	150%
	高画質 (圧縮)	0.8 MB	133%
	高解像度圧縮	0.5 MB	83%
	中画質【推奨】	0.3 MB	50%
	低画質	0.1 MB	17%

(例 2) 画像と文字が混在する A4×6 ページによる測定

元の PDF の ファイルサイズ	項目	出力される PDF の ファイルサイズ	ファイルサイズ 増率
6.2 MB	高画質 (標準)	46.9 MB	756%
	高画質 (圧縮)	12.7 MB	205%
	高解像度圧縮	16.2 MB	261%

	中画質【推奨】	5.6 MB	90%
	低画質	2.0 MB	32%

画像出力は2種類のファイルフォーマットを選べます

項目	特徴
JPG	JPEG形式です。
PNG	PNG形式です。

出力したPDFや画像が原本と異なる場合（フォントの差異や拡大率など）は、「高速出力を無効にする」をチェックすることで、改善することができます。

8.5 終了

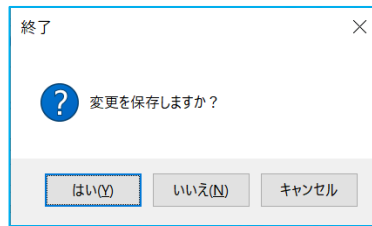
(1) 画面右上の×ボタンを押してください。

(2) ここで変更がある場合は「変更を保存しますか？」と表示されるので、いずれかのボタンを選んでください。

はい…axl ファイルに保存して終了します。

いいえ…axl ファイルに保存せずに終了します。

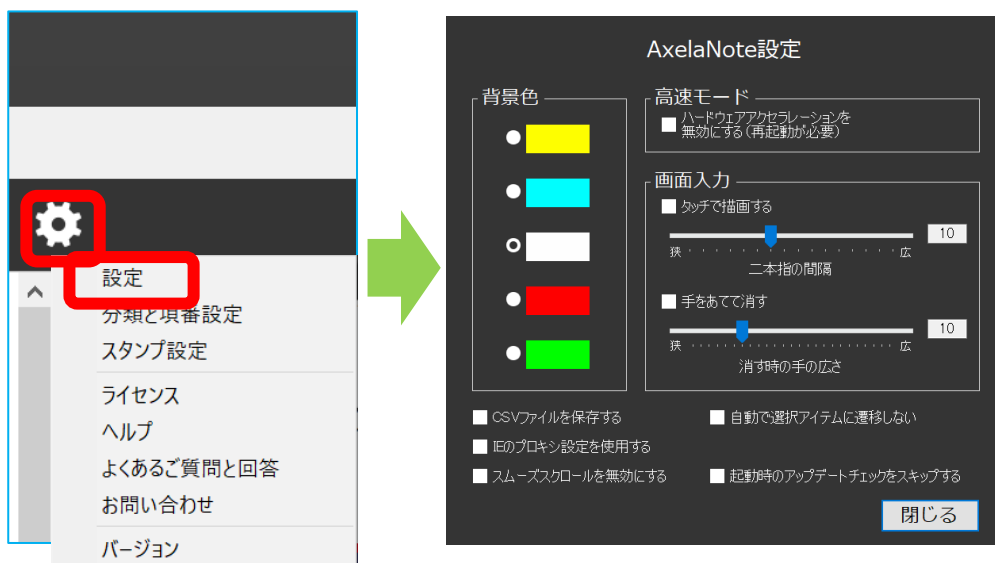
キャンセル…終了をキャンセルします。



(3) AxelaNote が終了します。

9. 設定など

メニューで「設定」ボタンをクリックすることにより、設定、ライセンス登録、ヘルプ、よくあるご質問と回答の表示などを行うことができます。



9.1 設定

- 背景色

書き込み画面の背景色を変更します。デフォルトは白です。なお、この背景色は画面表示用のため、PDF 出力には反映されません（推奨：白）。

- 高速モード

- ハードウェアアクセラレーションを無効にする（再起動が必要）

スクロール時に問題が生じる場合に有効化してください。設定を反映するには AxelaNote の再起動が必要です（推奨：チェックなし）。

- 画面入力

- タッチで描画する

デジタイザ機能のペンではなく、タッチ機能で描画する場合に有効化してください。機種によっては、ペンを用いた書き込みでも OS としてはタッチ扱いとなるものがあります。

- 二本指の間隔

ピンチイン・ピンチアウト（二本指でタッチし、両指を近づける／遠ざける操作）をする際に指の間隔のしきい値を設定できます。操作方法は P27 をご参照ください。

- 手を当てて消す

広い面積が画面に接触した場合に消去処理をする「手を当てて消す」モードで動作させる場合は有効にしてください。本機能を有効にするには「タッチで描画する」を有効にする必要があります。操作方法は P57 をご参照ください。

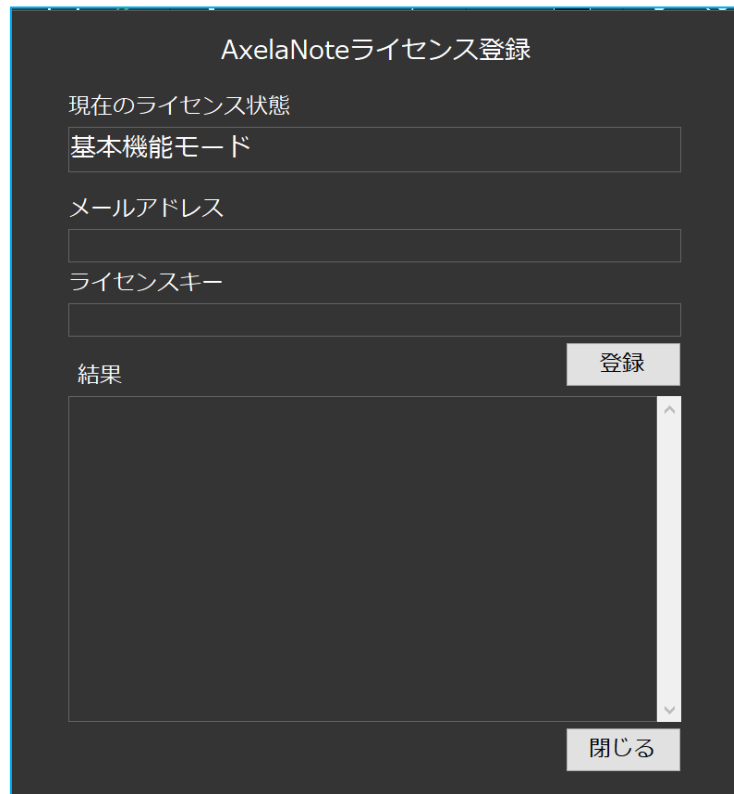
- 消すときの手の広さ

「手を当てて消す」が有効な場合、画面に接触した手の面積のしきい値を設定できます。このしきい値を超えると、「手を当てて消す」処理が動作します。

- CSV ファイルを保存する
axl ファイル保存時に併せて csv ファイルも出力します（P21 参照）。
- IE のプロキシ設定を使用する
ライセンス認証の際、IE で設定したプロキシを経由して通信を行います。
- スムーズスクロールを無効にする
スクロール時に表示している粗い画像を表示しないようにします。スクロールすると表示している画像が変わってしまう（粗さではなく表示内容そのものが変わってしまう）場合に有効にしてください。（推奨：チェックなし）
- 自動で選択アイテムに遷移しない
線オブジェクト、四角オブジェクト、テキストオブジェクトで、オブジェクト描画完了後に選択アイテムに自動で遷移させない場合に有効化してください。
- 起動時のアップデートチェックをスキップする
AxelaNote 起動時、弊社公式サイトに現在使用中のバージョンより新しいバージョンがあっても、更新を促すメッセージボックスを表示しません。

9.2 ライセンス

AxelaNote のライセンスを登録することができます。AxelaNote をはじめてインストールした直後は「基本機能モード」として動作します。これを「フル機能モード」にするには、ライセンス契約後にメールアドレスとライセンスキーを入力し、登録ボタンをクリックします。



The image shows a dark-themed dialog box titled "AxelaNoteライセンス登録" (AxelaNote License Registration). It contains the following elements:

- A label "現在のライセンス状態" (Current License Status) above a text input field containing "基本機能モード" (Basic Function Mode).
- A label "メールアドレス" (Email Address) above an empty text input field.
- A label "ライセンスキー" (License Key) above an empty text input field.
- A "登録" (Register) button located to the right of the "ライセンスキー" input field.
- A label "結果" (Result) above a large, empty text area with a vertical scrollbar on the right side.
- A "閉じる" (Close) button located at the bottom right of the dialog box.

ライセンスの登録が成功すると、以下の画面のように現在のライセンス状態が「フル機能モード」になります。メールアドレスとライセンスは PC に保存されます。通信状況によってはエラーとなる可能性があります。その場合は時間を置いてから実施をお試しください。

AxelaNoteライセンス登録

現在のライセンス状態
フル機能モード

メールアドレス PCにあるライセンス情報を初期化する
-

ライセンスキー
-

登録

結果

閉じる

「PCにあるライセンス情報を初期化する」をクリックすると、PCに登録したライセンス情報が削除され、基本機能モードに戻ります。

9.3 ヘルプ

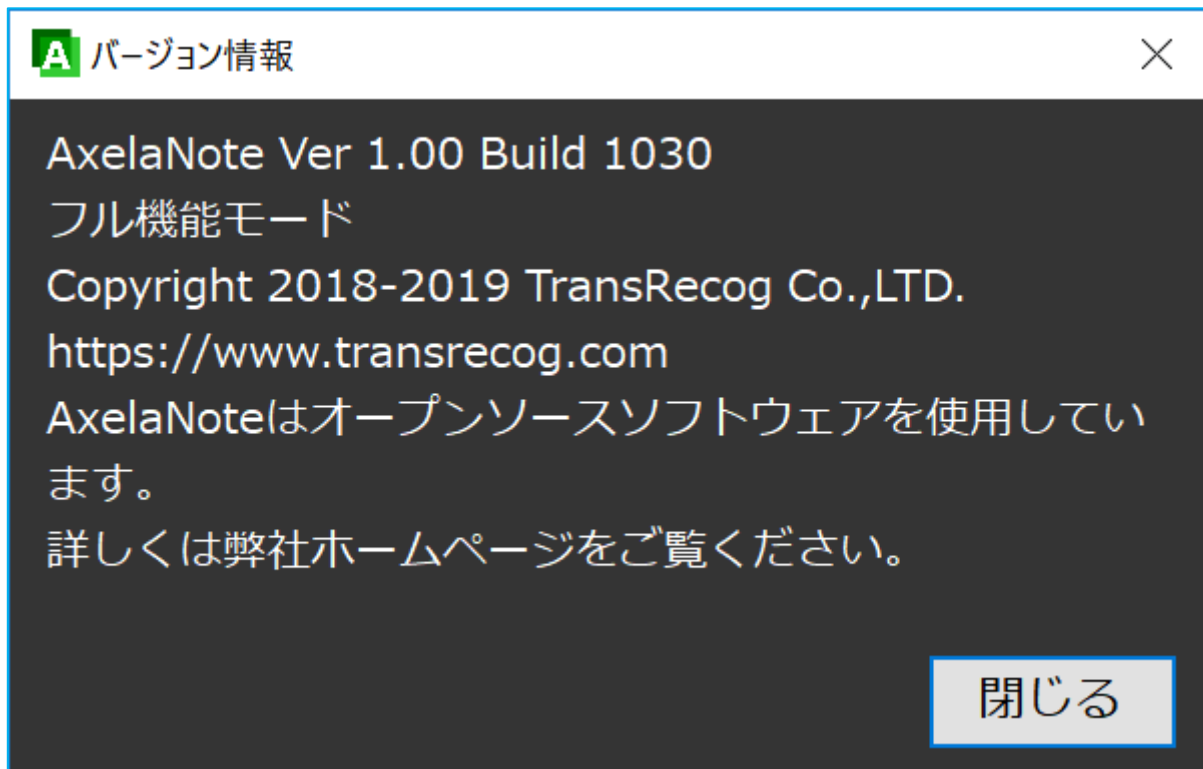
Webブラウザにて弊社公式サイトにあるヘルプページ (<https://www.transrecog.com/axelanotehelp/>) を表示します。

9.4 よくあるご質問と回答

Webブラウザにて弊社公式サイトにあるよくあるご質問と回答ページ (<https://www.transrecog.com/licenseandfaq/>) を表示します。

9.5 バージョン情報

AxelaNoteのバージョン、ライセンス状態、著作権などを表示します。



10. ライセンス

10.1 ライセンスによる機能の差異

ライセンス契約をしてライセンスキーを登録すると、フル機能モードになります。基本機能モードでも、表示は制限なく行うことができます。

機能		基本機能モード		フル機能モード	
		編集	表示	編集	表示
ファイルを開く		○			
ファイルを保存		○			
PDF出力	高画質（標準）	-		○	
	高画質（圧縮）	-		○	
	高解像度			○	
	中画質	-		○	
	低画質	○		○	
アンドウ／リドゥ		最大 20 世代			
拡大／縮小		○			
ページ	ページ数	最大 3 ページ	最大 500 ページ		
線と四角オブジェクト	線	1 ページ当たり最大 5 個 (但し矢印／フリーフォーム／四角／円／チェックマーク／画像／スタンプは書き込み不可)	1 ページ当たり最大 2000 個		
	矢印				
	フリーフォーム				
	四角				
	円				
	チェックマーク				
	画像				
	スタンプ				
フリーハンドオブジェクト					
テキストオブジェクト	縁取りなし文字				
	縁取りあり文字				
テキストオブジェクトの文字数	縁取りなし	最大 23 文字 (※)	最大 1023 文字 (※)		
	縁取りあり	最大 7 文字 (※)	最大 95 文字 (※)		
フォント選択		○			
フォントサイズ選択		○			

機能		基本機能モード		フル機能モード	
		編集	表示	編集	表示
線種	実線	○		○	
	二重線	-		○	
	点線	-		○	
太さ	1 (最も細い)	-		○	
	2	-		○	
	3	○		○	
	4	-		○	
	5	-		○	
	6	-		○	
	7	-		○	
	8	-		○	
	9 (最も太い)	-		○	
色	ピンク	-		○	
	紫	-		○	
	赤	-		○	
	青	-		○	
	オレンジ	-		○	
	水色	-		○	
	黄	-		○	
	緑	-		○	
	白	○		○	
	黒	○		○	
選択ツール				○	
手のひらツール				○	
消しゴム				○	
前ページ				○	
次ページ				○	
ページ移動				○	
設定				○	
領域選択				○	
領域コピー				○	

機能	基本機能モード		フル機能モード	
	編集	表示	編集	表示
領域貼り付け			○	
領域切り取り			○	
領域削除			○	
背景色選択			○	

※…使用する文字によってはこれより短くなる場合があります。

ライセンス購入は弊社 AxelaNote 製品ページにて行うことができます。

URL : <https://www.transrecog.com/axelanote/>

10.2 ライセンス認証

AxelaNote は、起動時と終了時に有効なライセンスを保持していることをインターネット経由で TransRecog ライセンスサーバに確認します。確認が取れると、フル機能モードで動作します。確認が取れなかった場合は基本機能モードで動作しますが、ネットワークの障害やネットワークのない環境での利用を考慮し、確認が取れた日から 14 日間はフル機能モードで動作します。14 日を過ぎると、基本機能モードで動作します。

11. お願い

TransRecog では AxelaNote に関する最新情報をホームページにて公開しております。製品ホームページの定期的なご確認をお願いいたします。また、AxelaNote に関するお問い合わせ・ご意見・ご感想は <https://www.transrecog.com/feedback/>にて承っております。より良い製品作りのため、是非ご意見・ご感想頂きたく、よろしくをお願いいたします。

12. 注意事項

特になし

13. お問い合わせ先

メール、もしくは Web ページより承ります。

メール : info@transrecog.com

Web ページ : <https://www.transrecog.com/feedback>

14. ライセンス表示

· zlib.h -- interface of the 'zlib' general purpose compression library version 1.2.11, January 15th, 2017

Copyright (C) 1995-2017 Jean-loup Gailly and Mark Adler

This software is provided 'as-is', without any express or implied warranty. In no event will the authors be held liable for any damages arising from the use of this software.

Permission is granted to anyone to use this software for any purpose, including commercial applications, and to alter it and redistribute it freely, subject to the following restrictions:

1. The origin of this software must not be misrepresented; you must not claim that you wrote the original software. If you use this software in a product, an acknowledgment in the product documentation would be appreciated but is not required.
 2. Altered source versions must be plainly marked as such, and must not be misrepresented as being the original software.
 3. This notice may not be removed or altered from any source distribution.
- Jean-loup Gailly Mark Adler
jloup@gzip.org madler@alumni.caltech.edu

· libpng

If you modify libpng you may insert additional notices immediately following this sentence.
This code is released under the libpng license.

libpng versions 1.0.7, July 1, 2000 through 1.6.32, August 24, 2017 are Copyright (c) 2000-2002, 2004, 2006-2017 Glenn Randers-Pehrson, are derived from libpng-1.0.6, and are distributed according to the same disclaimer and license as libpng-1.0.6 with the following individuals added to the list of Contributing Authors:

Simon-Pierre Cadieux
Eric S. Raymond
Mans Rullgard
Cosmin Truta
Gilles Vollant
James Yu
Mandar Sahastrabuddhe
Google Inc.
Vadim Barkov

and with the following additions to the disclaimer:

There is no warranty against interference with your enjoyment of the library or against infringement. There is no warranty that our efforts or the library will fulfill any of your particular purposes or needs. This library is provided with all faults, and the entire risk of satisfactory quality, performance, accuracy, and effort is with the user.

Some files in the "contrib" directory and some configure-generated files that are distributed with libpng have other copyright owners and are released under other open source licenses.

libpng versions 0.97, January 1998, through 1.0.6, March 20, 2000, are Copyright (c) 1998-2000 Glenn Randers-Pehrson, are derived from libpng-0.96, and are distributed according to the same disclaimer and license as libpng-0.96, with the following individuals added to the list of Contributing Authors:

Tom Lane
Glenn Randers-Pehrson
Willem van Schaik

libpng versions 0.89, June 1996, through 0.96, May 1997, are Copyright (c) 1996-1997 Andreas Dilger, are derived from libpng-0.88, and are distributed according to the same disclaimer and license as libpng-0.88, with the following individuals added to the list of Contributing Authors:

John Bowler
Kevin Bracey
Sam Bushell
Magnus Holmgren
Greg Roelofs
Tom Tanner

Some files in the "scripts" directory have other copyright owners but are released under this license. libpng versions 0.5, May 1995, through 0.88, January 1996, are Copyright (c) 1995-1996 Guy Eric Schalnat, Group 42, Inc.

For the purposes of this copyright and license, "Contributing Authors" is defined as the following set of individuals:

Andreas Dilger
Dave Martindale
Guy Eric Schalnat
Paul Schmidt
Tim Wegner

The PNG Reference Library is supplied "AS IS". The Contributing Authors and Group 42, Inc. disclaim all warranties, expressed or implied, including, without limitation, the warranties of merchantability and of fitness for any purpose. The Contributing Authors and Group 42, Inc. assume no liability for direct, indirect, incidental, special, exemplary, or consequential damages, which may result from the use of the PNG Reference Library, even if advised of the possibility of such damage.

Permission is hereby granted to use, copy, modify, and distribute this source code, or portions hereof, for any purpose, without fee, subject to the following restrictions:

1. The origin of this source code must not be misrepresented.
2. Altered versions must be plainly marked as such and must not be misrepresented as being the original source.
3. This Copyright notice may not be removed or altered from any source or altered source distribution.

The Contributing Authors and Group 42, Inc. specifically permit, without fee, and encourage the use of this source code as a component to supporting the PNG file format in commercial products. If you use this source code in a product, acknowledgment is not required but would be appreciated.

END OF COPYRIGHT NOTICE, DISCLAIMER, and LICENSE.

TRADEMARK:

The name "libpng" has not been registered by the Copyright owner as a trademark in any jurisdiction. However, because libpng has been distributed and maintained world-wide, continually since 1995, the Copyright owner claims "common-law trademark protection" in any jurisdiction where common-law trademark is recognized.

OSI CERTIFICATION:

Libpng is OSI Certified Open Source Software. OSI Certified Open Source is a certification mark of the Open Source Initiative. OSI has not addressed the additional disclaimers inserted at version 1.0.7.

Glenn Randers-Pehrson glennrp at users.sourceforge.net April 1, 2017

libHARU
Copyright (C) 1999-2006 Takeshi Kanno

This software is provided 'as-is', without any express or implied warranty.

In no event will the authors be held liable for any damages arising from the use of this software.

Permission is granted to anyone to use this software for any purpose, including commercial applications, and to alter it and redistribute it freely, subject to the following restrictions:

1. The origin of this software must not be misrepresented; you must not claim that you wrote the original software. If you use this software in a product, an acknowledgment in the product documentation would be appreciated but is not required.
2. Altered source versions must be plainly marked as such, and must not be misrepresented as being the original software.
3. This notice may not be removed or altered from any source distribution.

lz4
Z4 Library
Copyright (c) 2011-2014, Yann Collet
All rights reserved.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

* Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.

* Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the documentation and/or other materials provided with the distribution.

THIS SOFTWARE IS PROVIDED BY THE COPYRIGHT HOLDERS AND CONTRIBUTORS "AS IS" AND ANY EXPRESS OR IMPLIED WARRANTIES, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE ARE DISCLAIMED. IN NO EVENT SHALL THE COPYRIGHT HOLDER OR CONTRIBUTORS BE LIABLE FOR ANY DIRECT, INDIRECT, INCIDENTAL, SPECIAL, EXEMPLARY, OR CONSEQUENTIAL DAMAGES (INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, PROCUREMENT OF SUBSTITUTE GOODS OR SERVICES; LOSS OF USE, DATA, OR PROFITS; OR BUSINESS INTERRUPTION) HOWEVER CAUSED AND ON ANY THEORY OF LIABILITY, WHETHER IN CONTRACT, STRICT LIABILITY, OR TORT (INCLUDING NEGLIGENCE OR OTHERWISE) ARISING IN ANY WAY OUT OF THE USE OF THIS SOFTWARE, EVEN IF ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGE.

ImageMagick.NET

Copyright 2019 TransRecog Co., LTD.

Licensed under the ImageMagick License (the "License"); you may not use this file except in compliance with the License. You may obtain a copy of the License at

<https://imagemagick.org/script/license.php>

Unless required by applicable law or agreed to in writing, software distributed under the License is distributed on an "AS IS" BASIS, WITHOUT WARRANTIES OR CONDITIONS OF ANY KIND, either express or implied. See the License for the specific language governing permissions and limitations under the License.

Newtonsoft.Json

The MIT License (MIT)

Copyright (c) 2007 James Newton-King

Permission is hereby granted, free of charge, to any person obtaining a copy of this software and associated documentation files (the "Software"), to deal in the Software without restriction, including without limitation the rights to use, copy, modify, merge, publish, distribute, sublicense, and/or sell copies of the Software, and to permit persons to whom the Software is furnished to do so, subject to the following conditions:

The above copyright notice and this permission notice shall be included in all copies or substantial portions of the Software.

THE SOFTWARE IS PROVIDED "AS IS", WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EXPRESS OR IMPLIED, INCLUDING BUT NOT LIMITED TO THE WARRANTIES OF MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE AND NONINFRINGEMENT. IN NO EVENT SHALL THE AUTHORS OR COPYRIGHT HOLDERS BE LIABLE FOR ANY CLAIM, DAMAGES OR OTHER LIABILITY, WHETHER IN AN ACTION OF CONTRACT, TORT OR OTHERWISE, ARISING FROM, OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE SOFTWARE OR THE USE OR OTHER DEALINGS IN THE SOFTWARE.

websocket-sharp

The MIT License (MIT)

Copyright (c) 2010-2020 sta.blockhead

Permission is hereby granted, free of charge, to any person obtaining a copy of this software and associated documentation files (the "Software"), to deal in the Software without restriction, including without limitation the rights to use, copy, modify, merge, publish, distribute, sublicense, and/or sell copies of the Software, and to permit persons to whom the Software is furnished to do so, subject to the following conditions:

The above copyright notice and this permission notice shall be included in all copies or substantial portions of the Software.

THE SOFTWARE IS PROVIDED "AS IS", WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EXPRESS OR IMPLIED, INCLUDING BUT NOT LIMITED TO THE WARRANTIES OF MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE AND NONINFRINGEMENT. IN NO EVENT SHALL THE AUTHORS OR COPYRIGHT HOLDERS BE LIABLE FOR ANY CLAIM, DAMAGES OR OTHER LIABILITY, WHETHER IN AN ACTION OF CONTRACT, TORT OR OTHERWISE, ARISING FROM, OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE SOFTWARE OR THE USE OR OTHER DEALINGS IN THE SOFTWARE.

qpdf

Copyright 2005–2020 Jay Berkenbilt

Licensed under the Apache License, Version 2.0 (the "License");
you may not use this file except in compliance with the License.
You may obtain a copy of the License at

<http://www.apache.org/licenses/LICENSE-2.0>

Unless required by applicable law or agreed to in writing, software
distributed under the License is distributed on an "AS IS" BASIS,
WITHOUT WARRANTIES OR CONDITIONS OF ANY KIND, either express or implied.
See the License for the specific language governing permissions and
limitations under the License.

OpenCV
License Agreement
For Open Source Computer Vision Library
(3-clause BSD License)

Copyright (C) 2000-2019, Intel Corporation, all rights reserved.
Copyright (C) 2009-2011, Willow Garage Inc., all rights reserved.
Copyright (C) 2009-2016, NVIDIA Corporation, all rights reserved.
Copyright (C) 2010-2013, Advanced Micro Devices, Inc., all rights reserved.
Copyright (C) 2015-2016, OpenCV Foundation, all rights reserved.
Copyright (C) 2015-2016, Itseez Inc., all rights reserved.
Copyright (C) 2019-2020, Xperience AI, all rights reserved.

Third party copyrights are property of their respective owners.

Redistribution and use in source and binary forms, with or without modification, are permitted provided that the following conditions are met:

Redistributions of source code must retain the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer.
Redistributions in binary form must reproduce the above copyright notice, this list of conditions and the following disclaimer in the
documentation and/or other materials provided with the distribution.
Neither the names of the copyright holders nor the names of the contributors may be used to endorse or promote products derived
from this software without specific prior written permission.

This software is provided by the copyright holders and contributors "as is" and any express or implied warranties, including, but not
limited to, the implied warranties of merchantability and fitness for a particular purpose are disclaimed. In no event shall copyright
holders or contributors be liable for any direct, indirect, incidental, special, exemplary, or consequential damages (including, but not
limited to, procurement of substitute goods or services; loss of use, data, or profits; or business interruption) however caused and on
any theory of liability, whether in contract, strict liability, or tort (including negligence or otherwise) arising in any way out of the use of
this software, even if advised of the possibility of such damage.

Poppler

GNU GENERAL PUBLIC LICENSE
Version 2, June 1991

Copyright (C) 1989, 1991 Free Software Foundation, Inc.,
51 Franklin Street, Fifth Floor, Boston, MA 02110-1301 USA
Everyone is permitted to copy and distribute verbatim copies
of this license document, but changing it is not allowed.

Preamble

The licenses for most software are designed to take away your
freedom to share and change it. By contrast, the GNU General Public
License is intended to guarantee your freedom to share and change free
software--to make sure the software is free for all its users. This
General Public License applies to most of the Free Software
Foundation's software and to any other program whose authors commit to
using it. (Some other Free Software Foundation software is covered by
the GNU Lesser General Public License instead.) You can apply it to
your programs, too.

When we speak of free software, we are referring to freedom, not
price. Our General Public Licenses are designed to make sure that you
have the freedom to distribute copies of free software (and charge for
this service if you wish), that you receive source code or can get it
if you want it, that you can change the software or use pieces of it
in new free programs; and that you know you can do these things.

To protect your rights, we need to make restrictions that forbid
anyone to deny you these rights or to ask you to surrender the rights.
These restrictions translate to certain responsibilities for you if you
distribute copies of the software, or if you modify it.

For example, if you distribute copies of such a program, whether
gratis or for a fee, you must give the recipients all the rights that
you have. You must make sure that they, too, receive or can get the
source code. And you must show them these terms so they know their
rights.

We protect your rights with two steps: (1) copyright the software, and
(2) offer you this license which gives you legal permission to copy,
distribute and/or modify the software.

Also, for each author's protection and ours, we want to make certain

that everyone understands that there is no warranty for this free software. If the software is modified by someone else and passed on, we want its recipients to know that what they have is not the original, so that any problems introduced by others will not reflect on the original authors' reputations.

Finally, any free program is threatened constantly by software patents. We wish to avoid the danger that redistributors of a free program will individually obtain patent licenses, in effect making the program proprietary. To prevent this, we have made it clear that any patent must be licensed for everyone's free use or not licensed at all.

The precise terms and conditions for copying, distribution and modification follow.

GNU GENERAL PUBLIC LICENSE TERMS AND CONDITIONS FOR COPYING, DISTRIBUTION AND MODIFICATION

0. This License applies to any program or other work which contains a notice placed by the copyright holder saying it may be distributed under the terms of this General Public License. The "Program", below, refers to any such program or work, and a "work based on the Program" means either the Program or any derivative work under copyright law: that is to say, a work containing the Program or a portion of it, either verbatim or with modifications and/or translated into another language. (Hereinafter, translation is included without limitation in the term "modification".) Each licensee is addressed as "you".

Activities other than copying, distribution and modification are not covered by this License; they are outside its scope. The act of running the Program is not restricted, and the output from the Program is covered only if its contents constitute a work based on the Program (independent of having been made by running the Program). Whether that is true depends on what the Program does.

1. You may copy and distribute verbatim copies of the Program's source code as you receive it, in any medium, provided that you conspicuously and appropriately publish on each copy an appropriate copyright notice and disclaimer of warranty; keep intact all the notices that refer to this License and to the absence of any warranty; and give any other recipients of the Program a copy of this License along with the Program.

You may charge a fee for the physical act of transferring a copy, and you may at your option offer warranty protection in exchange for a fee.

2. You may modify your copy or copies of the Program or any portion of it, thus forming a work based on the Program, and copy and distribute such modifications or work under the terms of Section 1 above, provided that you also meet all of these conditions:

a) You must cause the modified files to carry prominent notices stating that you changed the files and the date of any change.

b) You must cause any work that you distribute or publish, that in whole or in part contains or is derived from the Program or any part thereof, to be licensed as a whole at no charge to all third parties under the terms of this License.

c) If the modified program normally reads commands interactively when run, you must cause it, when started running for such interactive use in the most ordinary way, to print or display an announcement including an appropriate copyright notice and a notice that there is no warranty (or else, saying that you provide a warranty) and that users may redistribute the program under these conditions, and telling the user how to view a copy of this License. (Exception: if the Program itself is interactive but does not normally print such an announcement, your work based on the Program is not required to print an announcement.)

These requirements apply to the modified work as a whole. If identifiable sections of that work are not derived from the Program, and can be reasonably considered independent and separate works in themselves, then this License, and its terms, do not apply to those sections when you distribute them as separate works. But when you distribute the same sections as part of a whole which is a work based on the Program, the distribution of the whole must be on the terms of this License, whose permissions for other licensees extend to the entire whole, and thus to each and every part regardless of who wrote it.

Thus, it is not the intent of this section to claim rights or contest your rights to work written entirely by you; rather, the intent is to exercise the right to control the distribution of derivative or collective works based on the Program.

In addition, mere aggregation of another work not based on the Program with the Program (or with a work based on the Program) on a volume of a storage or distribution medium does not bring the other work under the scope of this License.

3. You may copy and distribute the Program (or a work based on it, under Section 2) in object code or executable form under the terms of Sections 1 and 2 above provided that you also do one of the following:

- a) Accompany it with the complete corresponding machine-readable source code, which must be distributed under the terms of Sections 1 and 2 above on a medium customarily used for software interchange; or,
- b) Accompany it with a written offer, valid for at least three years, to give any third party, for a charge no more than your cost of physically performing source distribution, a complete machine-readable copy of the corresponding source code, to be distributed under the terms of Sections 1 and 2 above on a medium customarily used for software interchange; or,
- c) Accompany it with the information you received as to the offer to distribute corresponding source code. (This alternative is allowed only for noncommercial distribution and only if you received the program in object code or executable form with such an offer, in accord with Subsection b above.)

The source code for a work means the preferred form of the work for making modifications to it. For an executable work, complete source code means all the source code for all modules it contains, plus any associated interface definition files, plus the scripts used to control compilation and installation of the executable. However, as a special exception, the source code distributed need not include anything that is normally distributed (in either source or binary form) with the major components (compiler, kernel, and so on) of the operating system on which the executable runs, unless that component itself accompanies the executable.

If distribution of executable or object code is made by offering access to copy from a designated place, then offering equivalent access to copy the source code from the same place counts as distribution of the source code, even though third parties are not compelled to copy the source along with the object code.

4. You may not copy, modify, sublicense, or distribute the Program except as expressly provided under this License. Any attempt otherwise to copy, modify, sublicense or distribute the Program is void, and will automatically terminate your rights under this License. However, parties who have received copies, or rights, from you under this License will not have their licenses terminated so long as such parties remain in full compliance.

5. You are not required to accept this License, since you have not signed it. However, nothing else grants you permission to modify or distribute the Program or its derivative works. These actions are prohibited by law if you do not accept this License. Therefore, by modifying or distributing the Program (or any work based on the Program), you indicate your acceptance of this License to do so, and all its terms and conditions for copying, distributing or modifying the Program or works based on it.

6. Each time you redistribute the Program (or any work based on the Program), the recipient automatically receives a license from the original licensor to copy, distribute or modify the Program subject to these terms and conditions. You may not impose any further restrictions on the recipients' exercise of the rights granted herein. You are not responsible for enforcing compliance by third parties to this License.

7. If, as a consequence of a court judgment or allegation of patent infringement or for any other reason (not limited to patent issues), conditions are imposed on you (whether by court order, agreement or otherwise) that contradict the conditions of this License, they do not excuse you from the conditions of this License. If you cannot distribute so as to satisfy simultaneously your obligations under this License and any other pertinent obligations, then as a consequence you may not distribute the Program at all. For example, if a patent license would not permit royalty-free redistribution of the Program by all those who receive copies directly or indirectly through you, then the only way you could satisfy both it and this License would be to refrain entirely from distribution of the Program.

If any portion of this section is held invalid or unenforceable under any particular circumstance, the balance of the section is intended to apply and the section as a whole is intended to apply in other circumstances.

It is not the purpose of this section to induce you to infringe any patents or other property right claims or to contest validity of any such claims; this section has the sole purpose of protecting the integrity of the free software distribution system, which is implemented by public license practices. Many people have made generous contributions to the wide range of software distributed through that system in reliance on consistent application of that

system; it is up to the author/donor to decide if he or she is willing to distribute software through any other system and a licensee cannot impose that choice.

This section is intended to make thoroughly clear what is believed to be a consequence of the rest of this License.

8. If the distribution and/or use of the Program is restricted in certain countries either by patents or by copyrighted interfaces, the original copyright holder who places the Program under this License may add an explicit geographical distribution limitation excluding those countries, so that distribution is permitted only in or among countries not thus excluded. In such case, this License incorporates the limitation as if written in the body of this License.

9. The Free Software Foundation may publish revised and/or new versions of the General Public License from time to time. Such new versions will be similar in spirit to the present version, but may differ in detail to address new problems or concerns.

Each version is given a distinguishing version number. If the Program specifies a version number of this License which applies to it and "any later version", you have the option of following the terms and conditions either of that version or of any later version published by the Free Software Foundation. If the Program does not specify a version number of this License, you may choose any version ever published by the Free Software Foundation.

10. If you wish to incorporate parts of the Program into other free programs whose distribution conditions are different, write to the author to ask for permission. For software which is copyrighted by the Free Software Foundation, write to the Free Software Foundation; we sometimes make exceptions for this. Our decision will be guided by the two goals of preserving the free status of all derivatives of our free software and of promoting the sharing and reuse of software generally.

NO WARRANTY

11. BECAUSE THE PROGRAM IS LICENSED FREE OF CHARGE, THERE IS NO WARRANTY FOR THE PROGRAM, TO THE EXTENT PERMITTED BY APPLICABLE LAW. EXCEPT WHEN OTHERWISE STATED IN WRITING THE COPYRIGHT HOLDERS AND/OR OTHER PARTIES PROVIDE THE PROGRAM "AS IS" WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EITHER EXPRESSED OR IMPLIED, INCLUDING, BUT NOT LIMITED TO, THE IMPLIED WARRANTIES OF MERCHANTABILITY AND FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. THE ENTIRE RISK AS TO THE QUALITY AND PERFORMANCE OF THE PROGRAM IS WITH YOU. SHOULD THE PROGRAM PROVE DEFECTIVE, YOU ASSUME THE COST OF ALL NECESSARY SERVICING, REPAIR OR CORRECTION.

12. IN NO EVENT UNLESS REQUIRED BY APPLICABLE LAW OR AGREED TO IN WRITING WILL ANY COPYRIGHT HOLDER, OR ANY OTHER PARTY WHO MAY MODIFY AND/OR REDISTRIBUTE THE PROGRAM AS PERMITTED ABOVE, BE LIABLE TO YOU FOR DAMAGES, INCLUDING ANY GENERAL, SPECIAL, INCIDENTAL OR CONSEQUENTIAL DAMAGES ARISING OUT OF THE USE OR INABILITY TO USE THE PROGRAM (INCLUDING BUT NOT LIMITED TO LOSS OF DATA OR DATA BEING RENDERED INACCURATE OR LOSSES SUSTAINED BY YOU OR THIRD PARTIES OR A FAILURE OF THE PROGRAM TO OPERATE WITH ANY OTHER PROGRAMS), EVEN IF SUCH HOLDER OR OTHER PARTY HAS BEEN ADVISED OF THE POSSIBILITY OF SUCH DAMAGES.

END OF TERMS AND CONDITIONS

How to Apply These Terms to Your New Programs

If you develop a new program, and you want it to be of the greatest possible use to the public, the best way to achieve this is to make it free software which everyone can redistribute and change under these terms.

To do so, attach the following notices to the program. It is safest to attach them to the start of each source file to most effectively convey the exclusion of warranty; and each file should have at least the "copyright" line and a pointer to where the full notice is found.

```
<one line to give the program's name and a brief idea of what it does.>  
Copyright (C) <year> <name of author>
```

This program is free software; you can redistribute it and/or modify it under the terms of the GNU General Public License as published by the Free Software Foundation; either version 2 of the License, or (at your option) any later version.

This program is distributed in the hope that it will be useful, but WITHOUT ANY WARRANTY; without even the implied warranty of MERCHANTABILITY or FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE. See the GNU General Public License for more details.

You should have received a copy of the GNU General Public License along with this program; if not, write to the Free Software Foundation, Inc., 51 Franklin Street, Fifth Floor, Boston, MA 02110-1301 USA.

Also add information on how to contact you by electronic and paper mail.

If the program is interactive, make it output a short notice like this when it starts in an interactive mode:

```
Gnomovision version 69, Copyright (C) year name of author
Gnomovision comes with ABSOLUTELY NO WARRANTY; for details type `show w'.
This is free software, and you are welcome to redistribute it
under certain conditions; type `show c' for details.
```

The hypothetical commands `show w' and `show c' should show the appropriate parts of the General Public License. Of course, the commands you use may be called something other than `show w' and `show c'; they could even be mouse-clicks or menu items--whatever suits your program.

You should also get your employer (if you work as a programmer) or your school, if any, to sign a "copyright disclaimer" for the program, if necessary. Here is a sample; alter the names:

```
Yoyodyne, Inc., hereby disclaims all copyright interest in the program
`Gnomovision' (which makes passes at compilers) written by James Hacker.
```

```
<signature of Ty Coon>, 1 April 1989
Ty Coon, President of Vice
```

This General Public License does not permit incorporating your program into proprietary programs. If your program is a subroutine library, you may consider it more useful to permit linking proprietary applications with the library. If this is what you want to do, use the GNU Lesser General Public License instead of this License.

Note: AxelaNote makes use of the freely distributed and unaltered Poppler from the outside.

SharpDX

Copyright (c) 2010-2014 SharpDX - Alexandre Mutel

Permission is hereby granted, free of charge, to any person obtaining a copy of this software and associated documentation files (the "Software"), to deal in the Software without restriction, including without limitation the rights to use, copy, modify, merge, publish, distribute, sublicense, and/or sell copies of the Software, and to permit persons to whom the Software is furnished to do so, subject to the following conditions:

The above copyright notice and this permission notice shall be included in all copies or substantial portions of the Software.

THE SOFTWARE IS PROVIDED "AS IS", WITHOUT WARRANTY OF ANY KIND, EXPRESS OR IMPLIED, INCLUDING BUT NOT LIMITED TO THE WARRANTIES OF MERCHANTABILITY, FITNESS FOR A PARTICULAR PURPOSE AND NONINFRINGEMENT. IN NO EVENT SHALL THE AUTHORS OR COPYRIGHT HOLDERS BE LIABLE FOR ANY CLAIM, DAMAGES OR OTHER LIABILITY, WHETHER IN AN ACTION OF CONTRACT, TORT OR OTHERWISE, ARISING FROM, OUT OF OR IN CONNECTION WITH THE SOFTWARE OR THE USE OR OTHER DEALINGS IN THE SOFTWARE.

15. 他社商標

- Adobe、Adobe ロゴ、Acrobat、Acrobat ロゴおよび Reader は、Adobe Systems Incorporated (アドビ システムズ社) の米国ならびに他の国における商標または登録商標です。
- Wacom、Intuos およびそれらのロゴは、株式会社ワコムの商標または登録商標です。
- Windows® の正式名称は Microsoft® Windows® Operating System です。
- Microsoft、Windows、Surface は、米国 Microsoft Corporation.の米国およびその他の国における登録商標です。
- Windows® 7、Windows 8.1® 、Windows® 10 は、米国 Microsoft Corporation.の商品名称です。
- Visual Studio および Microsoft .NET Framework は、米国 Microsoft Corporation の米国およびその他の国における登録商標または商標です。
- その他記載の会社名、製品名は、それぞれの会社の商標もしくは登録商標です。

All Rights Reserved, Copyright © 2018-2021, TransRecog Co., Ltd.